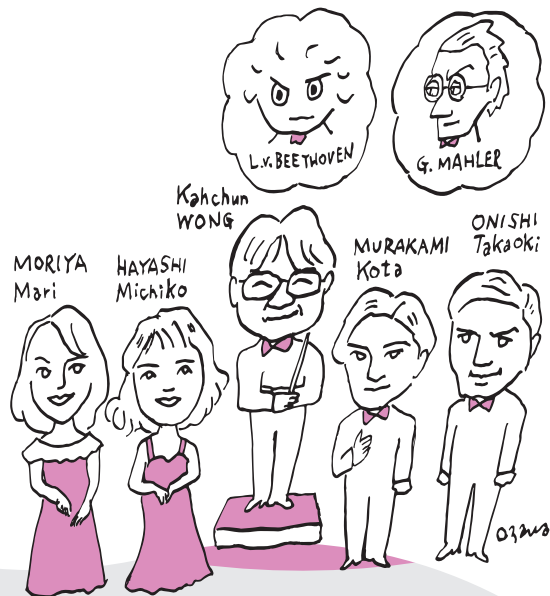


Tokyo

— 東京 —
779th



JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

SUBSCRIPTION CONCERTS 2026.4



Yokohama

— 横浜 —
416th



ご挨拶

本日、70周年のシーズンの幕開けを皆様とともに迎えられることに、心より感謝申し上げます。日頃より日本フィルハーモニー交響楽団を温かくお支えいただき、あらためて御礼申し上げます。

1956年の創立以来、日本フィルは芸術性と社会性を両輪とし、「市民とともに歩む」という理念のもと、音楽を通して多くの方々と時代をともにしてまいりました。音楽の響きが人と人を結び、その響きが社会へと広がっていくことを願いながら、演奏を重ねてまいりました。オーケストラとお客様、そしてご支援くださる方々とのあいだに、70年にわたり育まれてきた深い「共鳴」は、私たちにとってかけがえのない財産です。

創立70周年の節目にあたり、私たちはこの「共鳴」のエネルギーをさらに大きく広げていきたいとの思いから、「共鳴を、熱いウェーブに」を新たな合言葉として掲げ、ロゴも刷新いたしました。音楽が生み出す感動が波のように広がり、人から人へ、そして社会の隅々へと届いていくことを願っています。

これからも音楽の力を信じ、皆様とともに新たな歩みを重ねてまいります。本日の演奏が、皆様の心に響くひとときとなれば幸いです。

日本フィルハーモニー交響楽団

東京定期演奏会プログラム	4
2026年春夏セット券	13
次回東京定期演奏会	14
横浜定期演奏会プログラム	16
歴史でひもとく!〜クラシックこぼれ話 by小宮 正安	21
次回横浜定期演奏会	22
写真プレイバック- 2026年1月〜2月 -	23
今後の日本フィル出演公演	24
感動の共有 ~ご支援のお願い~	33
日本フィルハーモニー交響楽団 特別会員ご芳名	34
日本フィルハーモニー交響楽団 パトロネージュご芳名	38
日本フィルハーモニー協会 維持会員ご芳名	40
あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ	41
2026/2027シーズン東京定期演奏会一覧	42
2026/2027シーズン横浜定期演奏会一覧	43
メンバーズ TVU チャンネル 配信一覧	44
インフォメーション	45
オーケストラ・プロフィール	47
楽団紹介	48

ご来場お客様アンケートのお願い

公演ごとに抽選で
招待券をプレゼント

本日は、演奏会へご来場いただき、誠にありがとうございます。
3分程度のアンケートを、二次元コードを読み取っていただき、
演奏会から5日以内にご回答をお願いします。



PROGRAM

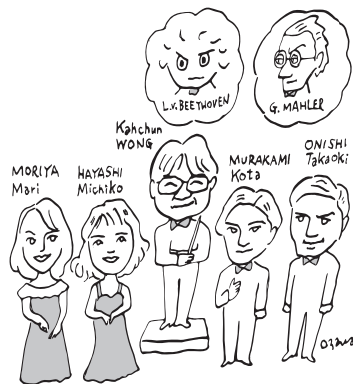
第779回東京定期演奏会

779th Tokyo Subscription Concerts
 2026年 4月10日(金) 19:00 開演
 4月11日(土) 14:00 開演
 サントリーホール

7:00p.m., Friday, 10th & 2:00p.m., Saturday,
 11th April, 2026, at Suntory Hall

プレトーク「本日の聴きどころ」 金曜日/18:30~
 土曜日/13:20~

東京定期演奏会では、毎回これから始まるコンサートの聴きどころや
 楽曲解説、アーティストの素顔等を紹介いたします。
 今月は音楽評論家・船木篤也さんです。



ベートーヴェン 交響曲第9番《合唱》ニ短調 op.125(約70分) (マーラー「修正版」)

Ludwig van BEETHOVEN
 (With Gustav Mahler's "Retuschen")

Symphony No.9 "Choral" in D-minor, op.125
 I. Allegro ma non troppo, un poco maestoso
 II. Molto vivace
 III. Adagio molto e cantabile
 IV. Presto — Allegro assai

休憩はございません。予めご了承ください

指揮	カーチュン・ウォン[首席指揮者]
Conductor	Kahchun WONG, Chief Conductor
ソプラノ	森谷 真理
Soprano	MORIYA Mari
メゾソプラノ	林 美智子
Mezzosoprano	HAYASHI Michiko
テノール	村上 公太
Tenor	MURAKAMI Kota
バリトン	大西 宇宙
Baritone	ONISHI Takaoki
合唱	晋友会合唱団
Chorus	Shinyukai Choir
コンサートマスター	田野倉 雅秋[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
Concertmaster	TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

4月10日(金)公演は
 ライブ配信あり!

Member's TVU CHANNELにて配信
<https://members.tvu.com> 詳細はP.44へ

*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。
 ご要望の方は主催者まで申し出ください。

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団
 協賛 / 株式会社ウテナ 鹿島建設株式会社
 TANAKEN株式会社
 ホッカンホールディングス株式会社
 三井不動産株式会社 UBE株式会社

表紙イラスト / 小澤 一雄

助成 / 文化庁文化芸術振興費補助金
 (舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
 独立行政法人日本芸術文化振興会



後援 / 駐日シンガポール共和国大使館



PROFILE

Conductor 指揮

カーチュン・ウォン [首席指揮者]

Kahchun WONG, Chief Conductor



©Ayane Sato

シンガポール生まれのカーチュン・ウォンは、舞台におけるその圧倒的な存在感と東西の音楽の遺産を探求し続ける思慮深さにおいて国際的に高い評価を得ている。2023年より日本フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者、そして2024年秋にサー・マーク・エルダーの後任として英国の名門オーケストラ、ハレ管弦楽団の首席指揮者兼芸術顧問に就任。2025年夏、英国タイムズ紙が「最高となる五つ星を超えた六つ星に値する」と絶賛したハレ管弦楽団とマーラー交響曲第2番《復活》でのBBCプロムスへの鮮烈なデビューは記憶に新しい。

2016年マーラー国際指揮者コンクールでの優勝以来、ウォンはクリーヴランド管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとする世界有数のオーケストラに客演。

現代作曲家と異文化対話の積極的な推進者でもあるウォンはニューヨーク・フィルハーモニックとタン・ドゥン《火の儀式》、BBC交響楽団と細川俊夫《祈る人》、シアトル交響楽団と共にリーナ・エスマイル《ヒンドゥスタンヴァイオリンの為の協奏曲》の世界初演を指揮。ドレスデン・フィル首席客演指揮者時代にはナロン・ブランチャールン《影の反映》を委嘱。ニュルンベルク交響楽団首席指揮者としての最終公演ではムソルグスキー《展覧会の絵》を五種類の中国民族楽器とオーケストラのためにウォン自身が再構築し、「クラシック・オープン・エア音楽祭」で75,000人の聴衆の前にて披露され、その演奏はドイツ語圏公共放送チャンネルおよびバイエルン放送を通じて国際的に放送された。

ハレ管弦楽団の任期初年度にリリースされたプリテン《パゴダの王子》およびブルックナー交響曲第9番の録音は、英国グラモフォン誌(2025年6月号)において「すべてのブルックナー愛好家必聴」と高く評価された。2025年、新たに同楽団とマーラー交響曲第2番《復活》がリリースされている。



指揮者インタビューは
 こちらから
 (3月東京定期プログラム掲載)

T
O
K
Y
O

T
O
K
Y
O



©TAKUMI JUN

Soprano
ソプラノ

森谷 真理

MORIYA Mari

武蔵野音楽大学、同大学院卒業後、ニューヨークのマネス音楽院修了。メトロポリタン歌劇場の《魔笛》夜の女王で大成功を収めた。ソノソコ州立劇場の専属歌手を務め、欧米の多数の歌劇場で活躍。近年ではザクセン州立歌劇場で《蝶々夫人》を主演。国内では、兵庫県立芸術文化センター、日生劇場、新国立劇場、びわ湖ホール等の歌劇場にて、バロックからベルカント、ヴェルディ、プッチーニ、シユトラウス、ワーグナーの作品まで多種多様な役柄を演じ、常に高く評価されている。近年ではブルーランク《人間の声》が新聞各紙で高評され、《ルサルカ》、《真珠とり》、《トスカ》の主演でも聴衆を魅了した。オーケストラとの共演では、ベルク『ヴォツェックより3つの断章』、R.シユトラウス『4つの最後の歌』等が絶賛され、ドイツではARDジルベスターコンサート及びグヴァントハウスでMDR交響楽団とフィリップ・グラス《The Voyage》はドイツ国内に放送され、鮮やかで高度な歌唱を印象付けた。リサイタルでは「Spirit of Language 一言霊」シリーズを展開中。東京藝術大学講師、洗足学園音楽大学講師。

公式ホームページ <https://marimoriya.com/>



©Toru Hiraiwa

Mezzosoprano
メゾソプラノ

林 美智子

HAYASHI Michiko

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所第1期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学。2003年国際ミトロプーロス声楽コンクール最高位入賞。第5回ホテルオークラ音楽賞受賞。

二期会、新国立劇場を中心に数多くのオペラに出演。2015年には紀尾井ホールにて《オリンピアアデ》のアルジェネ、日生劇場にて《ドン・ジョヴァンニ》エルヴィーラ役と、初役に挑み卓越した歌唱と抜群の存在感を示した。

チョン・ミョンフン、パーヴォ・ヤルヴィなど国内外の指揮者と主要オーケストラに共演を重ね、また、モーツァルトのダ・ポンテ三部作オペラ《コジ・ファン・トゥッテ》《フィガロの結婚》《ドン・ジョヴァンニ》を自らプロデュースするなど人気、実力ともに群を抜くメゾソプラノとして幅広く活動している。

CDは、『赤と黒』『地球はマルイゼ〜武満徹:SONGS』、『ベル・エクスントリック〜林美智子ベル・エボック歌曲集』をリリース。大阪音楽大学特任准教授及び日本大学芸術学部声楽講師。

オフィシャル・ホームページ:

<https://www.japanarts.co.jp/artist/michikohayashi/>



Tenor
テノール

村上 公太

MURAKAMI Kota

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外派遣研修員としてボローニャにて研鑽を積む。ジュゼッペ・ディ・ステーファノ国際コンクールにて《リゴレット》マントヴァ公爵役を獲得。

オペラでは、シンガポール・リリック・オペラ《魔笛》《ラ・ボエーム》等主演の他、新国立劇場《ファルスタッフ》フェントン、《蝶々夫人》ピンカートン、《ジャンニ・スキッキ》リヌッチョ、《ニコルンベルクのマイスタージンガー》クッツ・フォーゲルゲザング、《こうもり》アルフレード、《夏の夜の夢》ライサンダー、同オペラ鑑賞教室《カルメン》ドン・ホセ、《トスカ》カヴィラドッシ、日生劇場《コジ・ファン・トゥッテ》フェルランド、《マクベス》マルコム、東京二期会《椿姫》アルフレード、《カヴァレリア・ルスティカーナ》トゥルッドゥ等多数出演。他にもサントリーホールサマーフェスティバル《リトゥン・オン・スキン》(日本初演)等で好評を博す。

コンサートでも、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト及びヴェルディ「レクイエム」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」[第九]等で全国各地のオーケストラと共演を重ねている。

二期会会員



©Marco Borggreve

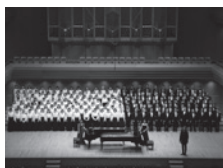
Baritone
バリトン

大西 宇宙

ONISHI Takaoki

武蔵野音楽大学及び大学院、ジュリアード音楽院修了。シカゴ・リリック・オペラにてデビュー。オーケストラ声楽作品のレパートリーはバロックから現代曲まで幅広く、カーネギーホールにて《カルミナ・ブラーナ》、シベリウス《クレルヴォ》、《ドイツ・レクイエム》他のソリストを務め、ベートーヴェン交響曲第9番のバリトン・ソロは定評がある。オペラでは2019年にセイジ・オザワ松本フェスティバルにてルイーザ指揮《エフゲニー・オネーギン》の題名役で日本デビュー以来、国内外で活躍。昨今では《ドン・ジョヴァンニ》、《コジ・ファン・トゥッテ》、《魔笛》、《フィガロの結婚》で高評され、ダラス・オペラ《ラ・ボエーム》マルチェッロ役、ミネソタ・オペラ《セビリアの理髪師》フィガロ役は各紙絶賛された。正統なスタイルと端正な美声、そして演技力と知性を兼ね備えたバリトンの逸材である。CDは『詩人の恋』(ピアノ:小林道夫)をBRAVO RECORDSよりリリース。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、ホテルオークラ音楽賞受賞、令和5年度(第74回)芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

公式ホームページ takaoki.com/



Chorus
合唱

晋友会合唱団

Shinyukai Choir

合唱指揮者・関屋 晋を常任指揮者としたアマチュア合唱団の集合体として活動を開始し、現在コーラスマスターは清水敬一が務め、オーケストラとの共演を主たる活動としている。1980年小澤征爾指揮・新日本フィルハーモニー交響楽団『マーラー/Sym.No.8(千人の交響曲)』共演に際し、「晋友会合唱団」としてデビューした。その後も小澤・新日本フィルと数多くの共演を重ねるとともに、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ドレスデン国立歌劇場管、ロンドン響、ポストン響、クリーヴランド管、日本フィルほかと、また指揮者としては、S. ラトル、L. マゼール、G. シノーポリ、P. ブーレーズ、Z. メータ、G. ベルティーニ、E. インバル、D. ハーディング、J. フルシャ、A. ラザレフ、広上淳一、大野和士、佐渡 裕、山田和樹ほか各氏と共演し絶賛を浴びている。

1988年「ベルリン・フィル定期演奏会」に招かれ、小澤征爾指揮『オルフ/カルミナ・ブラーナ』を演奏しベルリン・デビュー、あわせて録音も行った。

レパートリーは古典派・ロマン派から現代作品まで幅広く、その活動は国内はもとより海外からも注目を浴びている。

1959年東京生まれ。1982年早稲田大学理工学部電気工学科卒業。指揮法を遠藤雅古、V. Feldbrill、合唱指揮を関屋 晋の各氏に師事。現在およそ20の合唱団の指揮を任される。各地で合唱とオーケストラのための作品のコーラスマスターを務め、初演した現代作品も多い。2005年に世界合唱シンポジウムに於いて講師を務める。国内外の音楽祭・作曲コンクール・合唱コンクールの審査員を歴任。著書に『合唱指導テクニック』(NHK出版)、『合唱指揮者という生き方 私が見た「折々の美景」』(アルテスパブリッシング)。現在、全日本合唱連盟およびJCDA日本合唱指揮者協会理事、東京芸術大学附属高等学校講師。

Chorus master
合唱指揮

清水 敬一

SHIMIZU Keiichi

解説: 船木 篤也

ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》 二短調 op.125

初演は1824年5月7日、ウィーンのケルンテン門劇場にて。建物は現存しないが、いまのウィーン国立歌劇場の裏手、ホテル・ザッハーの位置にあった劇場で、同じ作曲者の《フィデリオ》やウェーバーの《オイリアンテ》など、あまたの重要作品が初演された場所である。上演にあたり作曲者も立ち会ったが、すでに聴力を失っていたため、実際の指揮は同劇場楽長のミヒヤエル・ウムラウフが執った。

「第9」は今やすっかりおなじみの音楽となっているが、ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン(1770 - 1827)が前作の第8番から10年ぶりに発表したこの交響曲は、当時、破天荒ともいえる作品であった。

なんといっても独唱と合唱の加わる第4楽章である。「交響曲というジャンルになぜ声楽が?」と、批評家たちの多くは頭を抱えてしまった。むしろオラトリオと呼ぶべきものではないのか、と。

オーケストラにとっても難物であった。いま話を第4楽章に絞れば、とりわけコントラバス奏者にとって、冒頭でチェロと一緒に奏する朗唱ふうパッセージは、どう考えても演奏不可能なものだったという。たしかに、朗唱というより、激しい演説のようだ。この「演説」は、第1楽章、第2楽章、第3楽章の主要テーマが断片となって再帰するたびに、それをさえぎり、「このような音楽ではなく!」と言わんばかりに否定してゆく。そうしてようやく、あの誰もが知る「歓喜の主題」が聞こえてくるのだ。

独唱者も手を焼いたようで、歌うはずだったバス歌手が本番直前に降板している。ソプラノ独唱者は、これを「どんな声帯をも駄目にしてしまう暴挙」と呼んだ。ベートーヴェンにしてみれば、「イタリア風の歌ばかりやってるからダメなんだ」ということになるのだが。彼は、当時イタリアから来てウィーンに吹き荒れたロッシェニ・ブームを、よく承知していたのだ。

【第1楽章】 開始部は、無から宇宙が誕生するといったイメージがびったり。静かな切れ切りの音で始まる管弦楽が、次第にふくれあがり、最初の爆発で第1主題の全容が出現するのだ。この峻厳なシーンが一段落すると、木管楽器が穏やかな第2主題を提示。そのメロディは、どこかあの「歓喜の主題」に似ている。この交響曲の最終メッセージを、ひそかに予告しているのだ。

【第2楽章】 第1楽章と同じく二短調で書かれているが、こちらには妖精があたりを飛び交うような幻想味とユーモアがある。中間部に入ると、突如二長調になり、晴れやかで牧歌的な雰囲気がただよう。ここにも「歓喜の主題」の予告がこっそり響いている。中間部が終わると、「妖精」の部がふたたび戻ってくる。

【第3楽章】 おだやかな平安の音楽。最初に変口長調の祈るような主題があり、これに声を低くした二長調の歌が続く。この二種の主題が、その後、入れかわり立ちかわり展開と変奏を重ねてゆく。そのうち、やや激した調子のファンファーレが鳴りわたるが、トランペットの信号が引き伸ばされるその締めくくりは、終楽章の「智天使ケルプが、神の御前に立っている」の予告である。

【第4楽章】 雷鳴のようなティンパニとともに、激しい不協和音が前楽章の余韻をつき破る。その後に展開されるのが、先に述べた「否定」のシーンだ。「歓喜の主題」が現れてから、それが全管弦楽を覆うようになると、また突如雷鳴が鳴る。そしてようやく人間の声が「おお友よ、こんな音楽はよそう!」とバリトンで入る。

その後は合唱も交えて、行進曲風、宗教音楽風と、さまざまな音楽をくぐり抜け、シラーの「歓喜に寄す」抜粋が歌われてゆく。楽章の最後では各種打楽器も華々しく打ち叩かれ、歓喜がほんとうに爆発する。

グスタフ・マーラーによる「修正版」について

交響曲第9番が、作風をより大胆な方向へ発展させた後期ベートーヴェンの所産であることは間違いない。だから破天荒、常識の枠を超えたのだ。しかし、実際の音を聴覚で確かめることのできなくなっていた彼は、その枠をいわば超え過ぎてしまったのであり、第9交響曲のスコアにはいろいろと問題がある——そのような主張は、ベートーヴェンの死後も、いや、むしろ死後にこそ唱えられるようになったと言えるだろう。

その筆頭として、かのリヒャルト・ワーグナー(1813-83)のものがある。彼の1873年の論文「ベートーヴェンの《第9交響曲》を演奏するために」を読むと、「問題」の中心に、使用楽器の今昔という観点のあったことがよくわかる。ベートーヴェンが目指していたことは、当時の楽器ではもはや表現しきれなかったのであり、現在の発達した楽器をもって、そこを補うべきだというのだ。

なるほど、ホルンがよい例だが、ベートーヴェン時代のそれは、金属管を基本的にぐるぐると巻いただけのものであり、音の高さは、口とベルに入れた手で操作して作るほかなかった。そのため、自然倍音から外れる音は出しにくかった。それが、19世紀も進んで工業技術が発達してくると大きく変わる。バルブ(弁)付きのホルンが普及し、どんな音も、半音階までも吹けるようになったのだ。また、コンサートホールが巨大化し、そこを鳴らすべく弦楽器奏者の数も増してくると、管楽器のほうでも、音量のバランスをとる必要がでてくるだろう。

こうした問題意識を、ワーグナーの次々世代にあたる、やはり作曲家でありながら指揮者であったグスタフ・マーラー(1860-1911)も共有した。そうしてベートーヴェンの第9交響曲を、

彼自身の仕方を書き変えて演奏したのだった。その数、計10回。急遽代役で指揮台に上がった1回目のプラハでの演奏(1886年)を除いて、2回目1895年のハンブルク公演から最後1910年のニューヨーク公演まで、いずれにおいても何かしら手を入れた。わけでもウィーンでは、1900年2月に2回、1901年1月に1回と計3回を演奏。このたび日本フィルハーモニー交響楽団が用いるのは、2020年に刊行された批判校訂版*で、これはおもに、マーラーがウィーンで用いたスコアに基いている。以下、修正・補筆のおもな特徴をまとめておこう。

* 刊行したJosef Weinberger & Universal Edition社はマーラーによる「編曲」ではなく「修正Retuschen」としている。

楽器編成の拡大・増強

- ・管楽器は、コントラファゴットとトロンボーンを除いて、フルート4本、ホルン8本というふう
- に、ベートーヴェンの源スコアが指定した数の倍を要する。
- ・源スコアにない楽器としてテューバが加わる。

声部の変更・追加

- ・倍増された管楽器は、多くの場合いわゆる「倍管」で、すなわち源スコアにある1パートを2人ユニゾンで吹く(その箇所はマーラーによって指定されている)。ただし、源スコアにないパート、ないしは音を吹くこともある。
- ・当該楽章でほんらい用いられない楽器が加わることもある。例:第1楽章のクライマックスで、トロンボーン、テューバ、第2ティンパニが加わる。
- ・源スコアの指定より1オクターヴ上げて、あるいは下げてある場合がある。
- ・源スコアに記された音を削除する場合がある。例:第4楽章最後におけるティンパニの6連符。

強弱法および表情指示の詳細化

- ・強弱の変化、表情の変化を、こと細かに指定する。源スコアにないpppp、fff、morendo等もあり。

ボウイングの指定

- ・弦楽器の弓の上げ下げを、随所で指定する。

短縮

- ・第2楽章スケルツォ部の2つ目のリピートを削除。それ以外に源スコアをカット(短縮)したところはない。

楽器編成: 独唱ソプラノ、独唱メソソプラノ、独唱テノール、独唱バリトン、混声四部合唱、ピッコロ2、フルート4、オーボエ4、クラリネット4、ファゴット4、コントラ・ファゴット1、ホルン8、トランペット4、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、テューバ1、ティンパニ2、大太鼓、シンバル、トライアングル、弦楽5部。

歌詞対訳

訳: 船木 篤也

Ludwig van BEETHOVEN: Symphony No.9 "Choral" in D-minor, op.125

Aus "Ode an die Freude" von Friedrich Schiller

Baritone Solo
O Freunde, nicht diese Töne!
Sondern lasst uns angenehmere
anstimmen und freudenvollere! (Beethoven)

Baritone Solo & Chorus
Freude, schöner Götterfunken,
Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken,
Himmlische, dein Heiligtum.
Deine Zauber binden wieder,
Was die Mode streng geteilt;
Alle Menschen werden Brüder,
Wo dein sanfter Flügel weilt.

Quartet & Chorus
Wem der große Wurf gelungen,
Eines Freundes Freund zu sein;
Wer ein holdes Weib errungen,
Mische seinen Jubel ein!
Ja, wer auch nur eine Seele
Sein nennt auf dem Erdenrund!
Und wer's nie gekonnt, der stehle
Weinend sich aus diesem Bund!

Freude trinken alle Wesen
An den Brüsten der Natur,
Alle Guten, alle Bösen
Folgen ihrer Rosenspur.
Küsse gab sie uns und Reben,
Einen Freund, geprüft im Tod,
Wollust ward dem Wurm gegeben,
Und der Cherub steht vor Gott.

Tenor Solo & Chorus
Froh, wie seine Sonnen fliegen
Durch des Himmels prächt'gen Plan,
Laufet, Brüder, eure Bahn,
Freudig wie ein Held zum Siegen.

Chorus
Seid umschlungen, Millionen!
Diesen Kuss der ganzen Welt!
Brüder über'm Sternenzelt
Muss ein lieber Vater wohnen.

Ihr stürzt nieder, Millionen?
Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Such ihn über'm Sternenzelt,
Über Sternen muss er wohnen.

ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》 二短調 op.125

フリードリヒ・シラー「歓喜に寄す」より

バリトン独唱
おお友よ、こんな音楽はよそう!
ここからは、もっと快い、喜ばしい
音楽を始めようではないか!(ベートーヴェン作)

バリトン独唱と合唱
喜びよ、神々のうろわしき火花よ
エリュシオンの娘よ
われらはその火花に酔いしれ
この上なきお前、お前の聖域に入ろう
お前の魔力は、この世のしきたりが
容赦なくひき裂いたものを、ふたたび結びつけてくれる
人はみな兄弟となる
お前の翼が、そっと憩うところぞ

四重唱と合唱
ある者の友となる
幸せを得た者は
やさしい妻を手にした者は
この歓呼に加わりたいまえ!
そう、ただ一人でもかまわない
この地球上に、自分のものと呼べる人があるならば!
それがどうしてもできない者は、ひっそりと
涙して、この同盟から出てゆくがよい!

生きとし生けるもの、喜びを
自然の乳房よりすする
善人も、悪人も
自然が敷く、ばら色の道をゆくばかり
自然はわれらに、幾多のくちづけを、たわむる葡萄を
死を耐えぬいた友を与えてくれた
虫にも快樂が分け与えられたのだ
智天使ケルブが、神の御前に立っている!

テノール独唱と合唱
意気揚々、星々が
天の輝かしい軌道を、飛びめぐるように
ゆけ、兄弟たちよ、おのれの道を
喜び勇んで、勝利にむかう英雄のように!

合唱
抱かれてあれ、もろ人よ!
この口づけを、全世界に!
兄弟たちよ、天穹のかなたに
愛する父は、おられるはず

もろ人よ、ひれ伏しているか?
人の世よ、かの創造者を予感するか?
天穹のはるかかなたに、求めるがよい
星辰のかなたに、かの人はおられるはず

2026年春夏お得なセット券

好評発売中

※セット券は各種会員の割引特典は併用できません。予めご了承ください。

芸劇シリーズ2公演セット S席セット¥12,000 A席セット¥10,000

① 第262回芸劇シリーズ	1回券好評発売中
2026年5月16日(土) 14:00	東京芸術劇場
指揮:藤岡 幸夫 シベリウス:交響詩《フィンランディア》 チャイコフスキー:交響曲第5番 バルリオーズ:幻想交響曲	
1回券 S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 D席 ¥3,500	
料金 Gs席(70歳以上) ¥5,000 Ys席(25歳以下) ¥2,500	

② 第263回芸劇シリーズ	1回券発売日:6月4日(木)
2026年9月6日(日) 14:00	東京芸術劇場
指揮:大友 直人 ヴァイオリン:千住 真理子 モーツァルト:歌劇《皇帝ティートの慈悲》序曲 メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲	
1回券 S席 ¥8,500 A席 ¥7,000 B席 ¥6,000 C席 ¥5,000 D席 ¥3,500	
料金 Gs席(70歳以上) ¥5,000 Ys席(25歳以下) ¥2,500	

名曲コンサート3公演セット S席セット¥19,500 A席セット¥16,500

① 第413回名曲コンサート	1回券好評発売中
2026年5月17日(日) 14:00	サントリーホール
指揮:藤岡 幸夫 シベリウス:交響詩《フィンランディア》 チャイコフスキー:交響曲第5番 バルリオーズ:幻想交響曲	
1回券 S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500 C席 ¥5,500 P席 ¥4,500	
料金 Gs席(70歳以上) ¥5,500 Ys席(25歳以下) ¥2,500	

② 第414回名曲コンサート	1回券発売日:7月7日(火)
2026年10月24日(土) 14:00	サントリーホール
指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:務川 慧悟 打楽器:ベンジャミン・ウー* 笛子:リー・チンツン* 揚琴:マ・ファン* 胡琴:タン・マンマン* 琵琶:ワン・スーウェン* チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番 ムソルグスキー(カーチュン・ウォン編曲):組曲《展覧会の絵》*	
1回券 S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500 C席 ¥5,500 P席 ¥4,500	
料金 Gs席(70歳以上) ¥5,500 Ys席(25歳以下) ¥2,500	

③ 第415回名曲コンサート	1回券発売日:7月23日(木)
2026年11月21日(土) 14:00	サントリーホール
指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:サー・ステイーヴン・ハフ ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 サン＝サーンス:交響曲第3番《オルガン付き》	
1回券 S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 ¥4,500	
料金 Gs席(70歳以上) ¥6,000 Ys席(25歳以下) ¥2,500	

【お申込み・お問い合わせ】日本フィルチケット♪[席を選んでお申込みできます] <https://eticket.japanphil.or.jp>
日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911(平日10時~17時)

NEXT CONCERTS

>> 次回東京定期演奏会

第780回東京定期演奏会

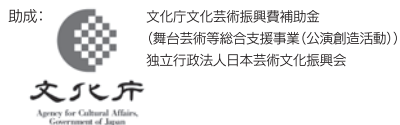
2026年 5月22日(金) 19:00開演
5月23日(土) 14:00開演
サントリーホール

プレートク 白石 美雪氏 金曜日/18:30~
土曜日/13:20~

■1回券料金

S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥7,000 C 完売 P ¥5,000 Ys (25歳以下) ¥2,500

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。



リープライヒの超越した音空間—死とは哀しみか、美しさか

ハイドン:
交響曲第44番《悲しみ》
ホ短調 Hob.I:44

三善 晃:
罎(こだま)つり星
〈チェロ協奏曲第2番〉

武満徹: 群島 S.
—21人の奏者のための
R.シュトラウス:
交響詩《死と変容》
TrV158, op.24



チェロ: 佐藤晴真

指揮: アレクサンダー・リープライヒ

次回東京定期演奏会指揮者にインタビュー!

アレクサンダー・リープライヒ編

きき手 後藤 菜穂子

—2年前の定期演奏会で演奏した三善晃の《魁響の譜》に続いて、今回は彼の《罎(こだま)つり星》(チェロ協奏曲第2番)を取り上げます。三善の音楽にはどのような印象をお持ちになりましたか?

フランス的な要素を強く感じました。《魁響の譜》は三善の《海 La mer》(ドビュッシー)といってもよいのではないのでしょうか。もちろん、三善独自の様式で書かれていますが、フランス音楽に感じられる洗練さや細部へのこだわりの点で共通していると思います。

今回演奏するチェロ協奏曲は、そうした彼の音に対する美学を持ちつつ、とてもヴィルトゥオーソ的な曲で、佐藤晴真さんをお迎えすることを楽しみにしています。本作がサントリーホール10周年記念委嘱作品で、初演は堤剛さんが行ったとうかがい、30年後にふたたび同ホールで演奏できることをたいへん光栄に思っています。

—さらに、日本の作品をもう一作、武満徹の《群島S.》を選ばれました。これまでに指揮されたことはありますか?

昨年3月に、私が音楽監督をつとめるバレンシア管弦楽団と演奏しました。彼らにとって初めて弾く作品でしたが、一音弾いただけで、いかに繊細に書かれた音楽であるかを見抜き、とても細やかに演奏してくれました。

個人的には、《群島S.》は武満の最大傑作のひとつだと思っています。まるでブルーゼのようになりながら、響きの点ではより秀でています。曲は21人の奏者を舞台上に「群島 (archipelago)」のように配置するものですが、私には、それが北海道から本州、四国、九州、沖縄へと南下していく一連の島々のように思われるのです。そして、そこに台湾も含めてもよいかもしれません。* すなわち、これらの「群島」は単なるグループではなくて、関連する島々なわけです。つまり同じ宇宙に属し、同じ文化の中に存在し、音楽の中で互いに関係性を築いている。これは実に人間的ですばらしいことだと感じます。

—これらの2作をハイドンとリヒャルト・シュトラウスで挟むという構成は、昨年のプログラムと同じですね。

ハイドンとリヒャルト・シュトラウスは、ミュンヘンに住む私にとって身近で欠かせない、南ドイツ地域を代表する音楽です。

ハイドンの交響曲第44番《悲しみ》は、ミュンヘン室内管弦楽団の首席指揮者を務めていたころに何度も演奏した大好きな曲です。これはハイドンのもっとも“クレイジー”な曲のひとつで、疾風怒濤的な激しさを持ち、さわめて自由な発想で書かれています。短調ですが、悲しい曲というよりも、悲しみを祝福するものだといえます。その点は、シュトラウスの《死と変容》にも共通していて、どちらも暗い曲ではなく、むしろ神聖な崇高さを持っているのです。

《死と変容》は、20代のシュトラウスがワイマールの宮廷楽長を務めていた時期に書かれた作品です。ワイマールは、ゲーテやシラー、フンメル、リストなど多くの芸術家が活躍した小都市で、ミュンヘンという都会から離れたシュトラウスにとって、創作に打ち込める環境だったことでしょう。

また、これはヒューマニスティックな背景を持った曲です。楽譜には詩が付いていますが、シュトラウスはこの詩のテキストに一語一句合わせて作曲したわけではありません。たしかに、詩に描かれている死の場面や昇天の場面は曲の中に聴き取れるでしょうけれど、彼はヴァーグナーとはちがって、テキストが音楽を決定づけることは望んでいませんでした。むしろ彼が描いているのは「変容 Verklärung」、すなわち物事が変化していくことだと思います。シュトラウスは生涯最後に書いた名作《メタモルフォーゼン》でも変容を扱っていますし、その意味で《死と変容》は、初期の《メタモルフォーゼン》と言ってもよいのではないのでしょうか。

*リープライヒさんは本年1月より台北市交響楽団の首席指揮者を務めている。

第416回横浜定期演奏会

416th Yokohama Subscription Concert
2026年 4月25日(土) 15:00開演
横浜みなとみらいホール

3:00p.m., Saturday, 25th April, 2026,
at Yokohama Minato Mirai Hall

オーケストラガイド 14:20~ 八木 宏之氏

毎回14:20から15分程度、大ホールにて横浜カルチュラル・ワンダーランド監修の小宮正安氏(欧州文化史)と、次代を担う若手評論家の八木宏之氏・布施砂丘彦氏が楽しいお話で演奏会をガイドします。



ディーリアス 楽園への道 (歌劇《村のロメオとジュリエット》より) (約11分)

Frederick DELIUS The Walk to the Paradise Garden (from "A Village Romeo and Juliet")

メンデルスゾーン ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64(約26分)

Felix MENDELSSOHN Concerto for Violin and Orchestra in E-minor, op.64
I. Allegro molto appassionato
II. Andante
III. Allegretto non troppo - Allegro molto vivace

休憩(15分) Intermission

シベリウス 交響曲第5番 変ホ長調 op.82(約32分)

Jean SIBELIUS Symphony No. 5 in E-flat major, op. 82
I. Tempo molto moderato
II. Andante mosso, quasi allegretto
III. Allegro molto

指揮 尾高 忠明

Conductor OTAKA Tadaaki

ヴァイオリン 前橋 汀子

Violin MAEHASHI Teiko

コンサートマスター 田野倉 雅秋[日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
Concertmaster TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

*この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムを用意しております。
ご希望の方は主催者までお申し出ください。

主催 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

表紙イラスト / 小澤 一雄

助成 /



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

文化庁
Agency for Cultural Affairs,
Government of Japan

後援 / tvk(テレビ神奈川)

協力 / 横浜みなとみらいホール

Conductor

指揮

尾高 忠明

OTAKA Tadaaki



©Martin Richardson

ロンドン交響楽団、ロンドン・フィル、BBC交響楽団、バーミンガム市交響楽団のほか、仙台フィルハーモニー管弦楽団をはじめ日本国内の主要オーケストラへ定期的に客演している。

また、ベルリン放送交響楽団、フランクフルト放送交響楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、イル＝ド＝フランス国立管弦楽団等へ客演。2017年BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団(旧BBCウェールズ交響楽団)首席指揮者就任から30年に当たりオール・エルガーによる記念コンサートが開催された。

2025年7月BBCウェールズ・ナショナル管とロイヤル・アルバートホールで開催されるBBCプロムスに通算34回目の出演を果たし、同年8月末で39年間続いた同管弦楽団を退任した。

1997年には英国エリザベス女王より大英勲章CBEを授与。その他、1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号、ウェールズ大学より名誉博士号、さらに1999年には英国エルガー協会より作品を各国で広く紹介した功績に対して、日本人初のエルガー・メダルが授与された。

国内では1991年度第23回サントリー音楽賞受賞。2012年有馬賞(NHK交響楽団)、2014年北海道文化賞、2017年度関西音楽クリティック・クラブ賞本賞、2018年度大阪文化祭賞、日本放送協会放送文化賞、2019年第49回JXTG音楽賞洋楽部門本賞を受賞。2021年旭日小綬章を受章。

現在NHK交響楽団正指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督、札幌交響楽団桂冠指揮者、東京フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、読売日本交響楽団名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠名誉指揮者、東京音楽大学付属オーケストラ・アカデミー音楽監督。2021年から「東京国際指揮者コンクール」審査委員長、その他、日本管打楽器コンクール運営委員長に就任している。

2010年から2014年まで新国立劇場オペラ芸術監督、2010年から2年間メルボルン交響楽団首席客演指揮者を務めた。

また後進の指導も積極的に行い、東京藝術大学名誉教授、相愛大学、京都市立芸術大学音楽学部客員教授、国立音楽大学招聘教授、桐朋学園大学特命教授を務めている。「日本芸術院会員」。



©岡本 隆史

Violin
ヴァイオリン

前橋 汀子

MAEHASHI Teiko

日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その優雅さと円熟味に溢れる演奏で、多くの聴衆を魅了してやまない。5歳から小野アンナにヴァイオリンを学び、その後、桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校で斎藤秀雄、ジャンヌ・イスナーに師事。17歳で旧ソ連国立レニングラード音楽院(現サンクトペテルブルク音楽院)日本人初の留学生に選ばれ、ミハイル・ヴァイマンのもとで学んだ。その後、ニューヨーク・ジュリアード音楽院でロバート・マン、ドロシー・デイレイ、スイスでヨーゼフ・シグティ、ナタン・ミルシテインの薫陶を受けた。

これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・フィル、フランス国立管などの名楽団、メータ、ロストロポーヴィチ、小澤征爾など世界の一線で活躍するアーティストとの共演を重ねている。

近年、小品を中心とした親しみやすいプログラムによるリサイタルを全国各地で展開する一方、J.S.バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ」や、ベートーヴェン、そしてブラームスの「ヴァイオリン・ソナタ」などにも意欲的に取り組んでいる。ピアニストのヴァン・マルディロシアンと、ベートーヴェン『ヴァイオリン・ソナタ全集』、ブラームス『ヴァイオリン・ソナタ全集』のCDがリリースされた。

また、室内楽にも積極的に活動しており、ベートーヴェンの弦楽四重奏や、近年では今井信子(ヴィオラ)、横坂源(チェロ)らとの弦楽トリオ等の公演も行っている。

著書『私のヴァイオリン 前橋汀子回想録』が早川書房より、最新刊『ヴァイオリニストの第五楽章』が日本経済新聞出版より出版されている。

これまでに日本芸術院賞、第37回エクスンモービル(現・ENEOS音楽賞)音楽賞洋楽部門本賞受賞。紫綬褒章、旭日小綬章を受章。使用楽器は1686年製ストラディヴァリウス。

PROGRAM NOTES

解説:小宮 正安

ディーリアス:楽園への道(歌劇『村のロメオとジュリエット』より)

許されざる関係の男女が織りなす悲劇的な愛…。19世紀ヨーロッパでは、このテーマに基づいた小説や演劇、オペラがブームとなる。というのもこの時代、特権階級に支配されてきた市民たちが自立を遂げる中、「個人の意識」が重要視され、それゆえに「個人と社会との軋轢」が問題視されていったからである。

スイス生まれ、ドイツで活躍した文学者ゴットフリート・ケラー(1819-90)が19世紀半ばに発表した短編小説『村のロメオとジュリア』もその1つ。自己中心的な欲望に駆られた村の大人たちが対立しあう中で、対立する家同士の少年少女が愛し合い、最後には死を通じて純愛を全うするという内容となっている。

これをオペラ化したのが、19世紀末から20世紀初頭にかけて、新進作曲家として注目を浴びつつあった、イギリス出身のフレデリック・ディーリアス(1862-1934)である。1899年から1901年にかけて作曲された後、改訂作業を経て、1907年にベルリンで上演された。しかも若き日のディーリアスが熱狂したリヒャルト・ワーグナー(1813-83)の楽劇《トリスタンとイゾルデ》(これも許されざる恋に陥った男女を扱った悲劇だ)に聴かれる、斬新な和声や濃厚な旋律からの影響も少なくない。

だがその一方で、抒情的なオーケストレーションや牧歌的な色彩感など、ワーグナーとは異なる独自のスタイルを追求していたディーリアスの姿勢も明確に認められる。その典型がオペラの終盤、主人公の少年少女が互いの愛を確かめた後、村の旅籠兼食堂の「楽園の庭」へ出かけるシーンで演奏される間奏曲(通称「楽園への道」)だ。なお本日は、ディーリアスの盟友だった指揮者トーマス・ビーチャム(1879-1961)が、この曲の普及を目指し、オリジナルの三管編成を二管編成に編曲した版が取り上げられる。

■ 楽器編成:フルート2、オーボエ1、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ、ハープ、弦楽5部。

メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64

19世紀前半のドイツに活躍したフェーリックス・メンデルスゾーン(1809-47)。そんな彼が書いた当作品は、ヴァイオリン協奏曲の代名詞と呼ばれるほど広く親しまれている。

この協奏曲が最初に着想されたのは1838年のこと。だが完成されたのは、6年後の1844年だった。指揮者業をはじめとする仕事が多忙なことに加え、このジャンルでの傑作を書くというメンデルスゾーン自身の意気込みの強さゆえのことである。結果、全楽章が途切れなく演奏されたり、独奏者任せにされることの多いカデンツァ(独奏者の腕を見せる独奏部分)をすべて彼自身が書いたりするなど、作曲者のひとかたならぬ拘りが随所に現れた。また曲自体にも、独奏とヴァイオリンとオーケストラの密接な絡み合い、またそれを通じて展開されてゆく、悲哀から喜びへの心の軌跡が凝縮されている。

【第1楽章】 アレグロ・モルト・アパッショナート(活力に満ちて きわめて情熱的に)、ホ短調、ソナタ形式。

【第2楽章】 アンダンテ(前へ進んで)、ハ長調、三部形式。

【第3楽章】 アレグレット・ノン・トロツポ(多少なりとも活力に満ちて 停滞せずに)、ホ短調～アレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ、ホ長調、ソナタ形式。

■ 楽器編成:独奏ヴァイオリン、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦楽5部。

シベリウス:交響曲第5番 変ホ長調 op.82

1915年、フィンランドを代表する作曲家として知られていたジャン・シベリウス(1865-1957)は、生誕50周年を迎える。そんな記念の年に催された祝賀演奏会のために彼が手掛けた新作が、この交響曲だ。しかもこれに先立つ数年前、シベリウスには癌が見つかったのだが、手術が成功し、死の恐怖からも解放される中での出来事だった…。

このようにして生まれた『交響曲第5番』は、内省的な影に覆われた前作の『交響曲第4番』に比べて、華やかさや勢いに満ちていると言われている。シベリウス自身、散歩の途中で感じた春の気配から、当作品の靈感を得た、と述べているほど。

ただしその一方で、当作品には、単なる祝典曲とは一線を画す複雑さも具わっている。1915年に初演された後、1919年まで改訂が重ねられ、現在聴くことのできる形に落ち着いた。そしてこの過程において、元々4楽章の構成が3楽章に変更されたり、最終楽章の終盤が、なかなか解決しない6つの和音をオーケストラが総奏で響かせる形になったりした。

この交響曲が作られたのは、人類史上未曾有の大量殺戮が繰り返された第一次世界大戦の最中。しかもシベリウスのいたフィンランドは、これまで彼の地を支配してきたロシア帝国が革命で倒れるという喜びもつかの間、内戦がおり、混乱の極みにあった。そうした過酷な体験が、度重なる改訂作業を経、作品そのものの内容に深く影を落としていると考えられることも、可能なのではないか。

【第1楽章】 テンポ・モルト・モデラート(きわめて節度をもったテンポで～活力に満ちつつ節度をもって)、変ホ長調

初稿の第1・第2楽章を融合させたこともあり、ソナタ形式の前半とスケルツォの後半から成る。前半は大自然を彷彿させるホルンの伸びやかな響きで始まり、後半の主題も農民の祭りを思わせる牧歌風のものだが、それらの途中でファゴットが不気味な動きを見せたり、楽章の終わりになると、音量的にも速度的にも歯止めが利かないほどの高揚感を見せたりと、一筋縄ではゆかない場面も。

【第2楽章】 アンダンテ・モッソ クアジ・アレグロ(常に前進してアレグロのように)、ト長調
ヴィオラとチェロがピッツィカートで奏でる素朴な旋律を主題とし、6つの変奏がそれに続く。

【第3楽章】 アレグロ・モルト(きわめて活力に満ちて)、変ホ長調
「A-B-A-B-コーダ」という構成を持ち、ヴィオラを中心に弦楽器の細かなトレモロが疾走(A)。続いてホルンが讃美歌のような動機でこれに応える(B)。最後は謎めいた6つの和音が、オーケストラの総奏で連打される。

楽器編成:フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、ティンパニ、弦楽5部。

ライブツィヒ:音楽家たちの交差点

ドイツ東部のライブツィヒは、J.S.バッハ(1685-1750)ゆかりの街というだけにとどまらない。4月の日本フィル東京定期、横浜定期で取り上げられる音楽家の、いわば交差点でもあったからだ。

ライブツィヒは伝統的に、ドイツ東部地域の交通の要だった。またそのことから、中世以来大規模な見本市が開かれ、商人や手工業者に代表される市民が経済面はおろか政治的な力も持ち、音楽をはじめとする文化や情報の交差点と化した。結果、市民階級の振興著しい19世紀前後になると、彼らに支えられた音楽文化が大きく花開くこととなる。

織物商人たちの会館の中に1781年に造られた音楽ホール(初代グヴァントハウスホール)然り、その建物に併設される形で1843年に開校した音楽院然り。グヴァントハウスホールをホームグラウンドに活動していたグヴァントハウス管弦楽団は、メンデルスゾーンをはじめとする優秀な指揮者を迎えて、その響きに磨きをかけた。またメンデルスゾーンはこの街の音楽院の初代院長にも就任。短期間で世界有数の音楽教育機関へと成長させ、若き日のディーリアスや、日本の滝廉太郎もここで学んでいる。

なおディーリアスや滝がライブツィヒにいた19世紀後半から20世紀初頭にかけて、この街にはもう1つの名所があった。手狭になった古い市立劇場に代わる形で1868年に落成した新しい市立劇場、通称「新劇場」である。

ここでは演劇はもとよりオペラも上演されていたのだが、このオペラ部門の第1楽長を務めたのが、近代指揮者の元祖ともいわれるアルトゥール・ニキシュ(1855-1922)。彼の下、第2楽長として活躍したのが若き日のマーラーである。マーラーはわずか1年ほどでライブツィヒを去ることとなるが、ちょうどこの時代にこの街で学びつつ、ニキシュやマーラーの指揮により、ワーグナーをはじめとする最新鋭の音楽に触れたのがディーリアスだった。

なおニキシュもやがて市立歌劇場を辞し、しばらくはライブツィヒを離れたが、やがてグヴァントハウス管弦楽団の楽長に就任。新進気鋭の作曲家と目されていたシベリウスの作品(『交響曲第1番』)も、20世紀に入って間もない1906年に指揮している。



ライブツィヒの市立劇場(「新劇場」) 1900年頃▶

第417回横浜定期演奏会

2026年 5月9日(土) 15:00開演
横浜みなとみらいホール

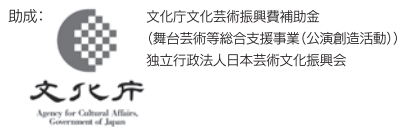
オーケストラガイド 布施 砂丘彦氏

■1回券料金

S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥7,000 C ¥6,000 P 完売 Ys (25歳以下) ¥2,500

※Ys席:25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターにお問い合わせください。



Y
O
K
O
H
A
M
A

ベートーヴェン:
《エグモント》序曲 op.84

ベートーヴェン:
ピアノ協奏曲第3番
ハ短調 op.37

ベートーヴェン:
ピアノ協奏曲第5番《皇帝》
変ホ長調 op.73



ピアノ: 小山 実稚恵

指揮: 小林 研一郎
[桂冠名誉指揮者]

小林研一郎と小山実稚恵、 この二人だからこそ叶う「楽興の時」

深い信頼と音楽的絆で結ばれたマエストロ小林研一郎とピアニスト小山実稚恵のオール・ベートーヴェン・プログラム。大作曲家の核心に迫る、充実のプログラムが実現します。冒頭を飾る《エグモント》序曲では、英雄的な情熱と闘志が、重厚な響きとともにホールを満たします。「ピアノ協奏曲第3番」では、モーツァルトの影を感じさせる古典的な構成の中に、鋭い内面の緊張が息づいており、小山の緻密なタッチと深い集中力がその真髄を浮かび上がらせてます。後半の「第5番《皇帝》」では、一転して堂々たる風格と明るい輝きに満ちた音楽が展開。小林の情熱的な指揮とともに、雄大なベートーヴェン像が描き出されます。まさに、この二人ならではの濃密な“ベートーヴェン体験”をお楽しみください。



1 1月7日東北の夢プロジェクトin東京

2026年最初の公演は、東北の子どもたちの輝きを、東京に届ける初めての企画「東北の夢プロジェクト in 東京」でした。「赤澤鐘剣舞」の力強い舞、福島県「合唱塾」の澄んだ歌声をオーケストラの音色と共にお届けしました。公演前日にみんなで記念撮影!

2 1月10日杉並定期演奏会
1月11日名曲コンサート

小林研一郎マエストロの楽しい解説付のニューイヤークンサートをお届けいたしました。1月11日の名曲コンサートでは、前半に小林マエストロ自らピアノをお弾きになり、愛するモルダウについて語っていただきました。



3 1月16日、17日東京定期演奏会*

指揮に広上淳一マエストロ、チェロにカミーユ・トマさんをお迎えしてお送りした東京定期演奏会は、ファジル・サイのチェロ協奏曲《Never give up》とショスタコヴィチの交響曲第15番でした。コンマスの木野雅之も一緒にパジャリ。

4 1月24日横浜定期演奏会*

ウィーン・フィルのヴァイオリン奏者であるヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルグさんを迎えた1月の横浜定期は、さながら皆様とウィーンへ旅をしたようなウィーンの香りたたくニューイヤークンサートとなりました。



5 九州公演2026 第51回の九州公演は藤岡マエストロの指揮のもと、鹿児島、宮崎、大分、北九州、熊本、福岡は周防亮介さん、大牟田、佐賀、長崎は阪田知樹さんをソリストにお迎えしました。また来年2月に!

今後の日本フィル出演公演

2026年5月～6月

2026	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
5月	日本フィル&サントリーホール にじくら ～トークと笑顔と、音楽と 第10回 サントリーホール 1[金]14:00	指揮:鈴木 優人 ハープ:吉野 直子 ナビゲーター:高橋 克典 ベートーヴェン: 序曲《レオノーレ》第3番 ヘンデル:ハープ協奏曲 メンデルスゾーン: 交響曲第4番《イタリア》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット
	第417回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 9[土]15:00	指揮:小林 研一郎[桂冠名誉指揮者] ピアノ:小山 実稚恵 ベートーヴェン:《エグモント》序曲 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット
	第81回杉並定期演奏会 杉並公会堂 10[日]15:00 完売		お問い合わせ: 杉並公会堂
	第262回芸劇シリーズ 東京芸術劇場 16[土]14:00	指揮:藤岡 幸夫 日本フィルの「交響三題」 シベリウス:交響詩《フィンランディア》 チャイコフスキー:交響曲第5番 ベルリオーズ:幻想交響曲	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット
	第413回名曲コンサート サントリーホール 17[日]14:00		
	第780回東京定期演奏会 サントリーホール 22[金]19:00 23[土]14:00	指揮:アレクサンダー・リープライヒ チェロ:佐藤 晴真 ハイドン:交響曲第44番《悲しみ》 三善 晃:罌つり星《チェロ協奏曲第2番》 武満徹:群島 S.-21人の奏者のための R.ショトラウス:交響詩《死と変容》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット
	第155回 さいたま定期演奏会 ソニックシティ 30[土]14:00	指揮:鈴木 優人 フルート:Cocomi メンデルスゾーン: 序曲《フィンガルの洞窟》 ライネッケ:フルート協奏曲 ベートーヴェン:交響曲第6番《田園》	日本フィルeチケット

2026	公演/会場/日時	出演者/曲目	チケット/お問い合わせ
6月	第781回東京定期演奏会 サントリーホール 6[土]14:00 7[日]14:00	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ヴァイオリン:服部 百音 ガーシュウィン:《バリのアメリカ人》 ファジル・サイ: ヴァイオリン協奏曲《ハーレムの千一夜》 コーブランド:交響曲第3番	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット
	創立70周年記念 特別演奏会 サントリーホール 21[日]17:00 22[月]19:00 完売	指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者] ソプラノⅠ(罪深き女):船越 亜弥 ソプラノⅡ(懺悔する女):吉田 珠代 ソプラノⅢ(栄光の聖母):三宅 理恵 アルトⅠ(サマリアの女):花房 英里子 アルトⅡ(エジプトのマリア):中島 郁子 テノール(マリア崇敬の博士):宮里 直樹 バリトン(法悦の教父):青山 貴 バス(瞑想する教父):加藤 宏隆 合唱: 日本フィルハーモニー協会合唱団 武蔵野合唱団 東京音楽大学合唱団 杉並児童合唱団 マーラー:交響曲第8番《千人の交響曲》	
	第418回横浜定期演奏会 横浜みなとみらいホール 27[土]15:00	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ヴァイオリン:ボリス・ベルキン モーツァルト:歌劇《劇場支配人》序曲 ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番 ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》	日本フィル・サービスセンター 日本フィルeチケット
	フレッシュ名曲コンサート どりーむコンサート Vol.133 府中の森芸術劇場どりーむホール 28[日]14:00	指揮:広上 淳一 [フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ヴァイオリン:福田 麻子 ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》	お問い合わせ: 府中の森芸術劇場

日本フィル・サービスセンター TEL:03-5378-5911 [平日10時-17時]
日本フィルeチケット ▶ <https://eticket.japanphil.or.jp>

公演の詳細は日本フィル・ホームページでご確認ください。 japanphil.or.jp





咲かせよう、
まだない
キレイを。



 utena



想像を、チカラに。



人が想像できることは、必ず人が実現できる。
鹿島の都市づくりは、100年先を見つめています。

100年をつくる会社
in 鹿島

株式会社 ウ テ ナ
〒157-8567 東京都世田谷区南烏山1-10-22
お客様相談室 0120-305411 www.utena.co.jp

人にやさしい環境をつくる。

解体のTANAKEN

「子供たちに何が残せるか」を常に考え、
明日のために今日できることを実行し、
社業を通じて「人にやさしい環境づくり」に
貢献します。



TANAKEN株式会社

〒105-7309

東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング9階

TEL:03-6264-5520 FAX:03-6264-6405

コーポレートサイト



ブランドサイト



木を植え、
森を育てることも、
街づくりの
大切な一部なんです。

三井不動産グループは北海道で
約5,000ヘクタールの森林を
保有、管理しています。
その大きさは東京ドーム約1,063個分。
この森が吸収するCO2は年間、
約21,315トンにもなるそうです。
人の手で1本1本苗木を
植え、下刈り、間伐などの
手入れをして健康な森に育てる。
そして、伐採適期を迎えた
木材や間伐材を、ららぽーとや
日本橋の街づくりに活用し、
「植えるー育てるー使う」のサイクルを
回し続けて、森を守っているんだって。
街づくりには森や緑を生かすことが
大切なんだな、と思いました。



三井のすずちゃん



◀ 三井のすずちゃんページはこちら

さあ、街から未来をかえよう

& 三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

三井不動産グループ保有林 北海道 深川市湯内

ストーリーを変える、 ケミストリー。

新しいものは、化学反応から生まれる。
化学の力で、もっといい未来へ。

UBE Transform
Tomorrow
Today

最高級のアコースティックを誇る

杉並公会堂
Suginami Koukaidou

日本フィルは杉並公会堂を活動拠点とし、
様々な活動を通じて音楽文化を発信しています。



日本フィル杉並公会堂
シリーズ公演より



春休みオーケストラ探検より
楽器体験



公開リハーサル

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15
Tel: 03-3220-0401
<http://www.suginamikoukaidou.com/>
※運営会社：(株)京王設備サービス

日本フィルを支えてくださる皆様に、心より御礼申し上げます。

日本フィルは多くの方々の支えを基に、年間150回を超える演奏会を中心とした多彩な活動を行っております。質の高い演奏を継続してお届けするため、また、音楽を通して「豊かな社会」の実現の一翼を担う活動をいっそう推進するために、幅広い皆様のお力によって経済的基盤を強化することを願っております。

演奏によって皆様とつながり、皆様とともに豊かな社会を実現する担い手となることを願い、「オーケストラ・コンサート」「エデュケーション・プログラム」「リージョナル・アクティビティ」という三つの柱で活動を行い、音楽を通して文化を発信しています。

私達は、日ごろの活動を通して、音楽とはネットワーク、コミュニケーションの力によって広がり、喜びがより深くなるものだと実感しております。日本フィルの楽団員一同は、音楽によって人と人とが繋がる喜びをもっとも理解する音楽集団として、人の心の温かさを、演奏に乗せて届けます。

日本フィルの活動を維持・発展させるためには、自助努力ももちろん大切です。引き続き経営面での努力を重ねます。

しかしいっぽう、文化の事業には継続性が大切です。こんにちの日本において、安定した活動を継続するためには皆様からいただくご寄付、ご支援が欠かせません。日本フィルは今後、様々なコミュニティの皆様とともに多彩な活動を行っていきたくと考えております。

社会のより一層の発展にとって、文化の成熟は欠くことができないものとなっております。日本フィルも、その一翼を担う存在として、皆様とともにその社会的役割をさらに充実させてまいりたいと考えております。どうぞ温かいご支援をお願い申し上げます。

日本フィルハーモニー交響楽団
理事長 石塚 邦雄

■お振込みでのご寄付

①お名前 ②ご住所 ③TEL ④お振込額
をメール donation@japanphil.or.jp まで
お知らせください。

【お振込先口座】

三菱UFJ銀行 高円寺支店(支店コード:155)
普通預金 0242402

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

※振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

その他右ページもご覧ください。

■オンライン寄付

日本フィルの公式ホームページから
クレジットカードによりご寄付いただけます。
右の二次元コードから
ご寄付のサイト
をご覧ください。

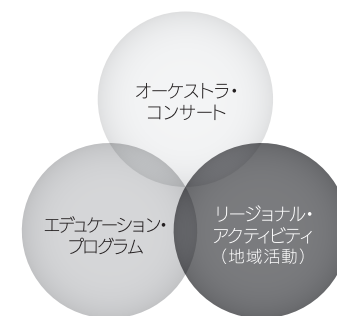


ご寄付をいただきました方には、
後日寄付金受領書等をお送りいたします。

感動の共有 日本フィルハーモニー交響楽団

文化の発信

日本フィルは、
質の高い音楽をお届けする《オーケストラ・コンサート》
音楽との出会いを広げる《エデュケーション・プログラム》
そして音楽の力で様々なコミュニティを活性化させる
《リージョナル・アクティビティ》という
三つの柱で活動を行い、
音楽を通して文化を発信しています。



今月から下記の方々よりご支援をいただくことになりました。(敬称略)

特別会員

三菱総研DCS株式会社 代表取締役社長 亀田 浩樹

パトローネージュ

黒田 真二 神奈川県 / 山岸 陽子 東京都 / 匿名 1名

日本フィルへのご寄付

税額控除または所得控除の対象となります。宛先は左のページをご覧ください。

パトローネージュ[個人寄付会員]

プログラム誌へのご芳名掲載などの特典があります。税額控除または所得控除の対象となります。
年会費:3万円/5万円/12万円/20万円/50万円/100万円

日本フィル・サポーターズクラブ

音楽に関心を持つ皆様へ日本フィルの活動をご支援いただくシステムです。ご招待券2枚プレゼント、
主催公演チケット優先受付・優待(1割引)など様々な特典があります。
年会費:1万円

特別会員[法人寄付]

定期演奏会のご案内、プログラム誌へのご芳名の掲載などの特典があります。
寄付金額を損金に算入することができます。

遺贈

遺言により財産をご寄付頂く方法です。税制上の優遇措置の対象となります。
お申込みの方法など、提携銀行のご紹介など、詳しくは事務所までご相談ください。

お問い合わせ:日本フィル事務所 TEL03-5378-6311(10-18時、土日祝日休)

アース製薬株式会社
代表取締役社長 CEO 川端 克宜

アイング株式会社 代表取締役会長 飯嶋 庸夫

赤坂維新號 代表取締役会長 鄭 東静

あすか製薬株式会社
代表取締役社長 山口 惣大

株式会社アトックス
代表取締役社長 矢口 敏和

株式会社アドバンス都市開発
代表取締役 古澤 孝

株式会社アダービジネスコンサルタント
代表取締役社長 池田 昭司

イーンソリューションズ株式会社
代表取締役社長 佐々木経世

株式会社泉商会 代表取締役 八方 健介

株式会社泉放送制作
代表取締役社長 日下部恵一

磯野不動産株式会社
代表取締役社長 磯野 計一

稲畑産業株式会社 代表取締役社長 稲畑勝太郎

株式会社インフォーマット
代表取締役社長 中島 健

株式会社内田洋行 代表取締役社長 大久保 昇

宇部エクシモ株式会社
代表取締役社長 福永 謙二

株式会社AIT 代表取締役社長 大熊 克美

ABCシステム株式会社
代表取締役社長 児玉 光宏

株式会社エイブル&パートナーズ
代表取締役会長兼社長 佐藤 茂

株式会社エヌエフホールディングス
代表取締役会長 高橋 常夫

NGB株式会社 代表取締役社長 宮崎 潔

株式会社エルイーテック
代表取締役社長 坂田 洋一

エレコム株式会社 代表取締役会長 葉田 順治

株式会社大場造園 代表取締役社長 大場 二郎

岡三証券株式会社
荻窪タウンセブン株式会社

小川香料株式会社 代表取締役社長 小川 裕

株式会社ONODERA GROUP
代表取締役会長兼社長 小野寺裕司

公益財団法人オリックス宮内財団
代表理事 宮内 義彦

鹿島建設株式会社
代表取締役会長兼社長 押味 至一

鹿島建物総合管理株式会社
代表取締役社長 山本 和雄

鹿島道路株式会社 代表取締役社長 小土井満治

株式会社カナック企画 代表取締役 金子高一郎

株式会社カナデン 代表取締役社長 守屋 太

株式会社 歌舞伎座 代表取締役社長 安孫子 正

株式会社ガモウ 代表取締役 蒲生 茂

社会医療法人河北医療財団 理事長 河北 博文

川北電気工業株式会社 取締役社長 大津 正己

北野建設株式会社
代表取締役会長兼社長 北野 貴裕

キッコーマン株式会社
代表取締役社長CEO 中野祥三郎

キャノン株式会社
代表取締役会長 兼 社長 CEO 御手洗富士夫

キヨーピー株式会社
代表取締役 社長執行役員 高宮 満

共和建物管理株式会社 代表取締役 平 浩

キリンホールディングス株式会社
代表取締役社長COO 南方 健志

株式会社きんでん 取締役社長 上坂 隆勇

株式会社九曜社 代表取締役社長 望月 耕次

グローブシップ株式会社
代表取締役社長 矢口 敏和

京王重機整備株式会社
代表取締役社長 寺田雄一郎

株式会社京王設備サービス
取締役社長 梁瀬 哲夫

京王電鉄株式会社
代表取締役社長社長執行役員 都村 智史

株式会社小泉 代表取締役社長 長坂 剛

株式会社興建社 代表取締役 水島 隆明

コーザイ株式会社 代表取締役 貝沼 信和

株式会社講談社 代表取締役社長 野間 省伸

株式会社コバヤシ 代表取締役 小林 達夫

コンパッソ税理士法人 代表社員 内川 清雄

株式会社コンサートサービス
代表取締役 佐藤 修悦

佐藤製薬株式会社 代表取締役社長 佐藤 誠一

三機工業株式会社 特別顧問 梶浦 卓一

山丸株式会社 代表取締役社長 中村 公大

サントリーホールディングス株式会社
代表取締役社長 鳥井 信宏

三洋貿易株式会社 代表取締役社長 新谷 正伸

ジーエルサイエンス株式会社
取締役社長 長見 善博

ジェネロ株式会社 代表取締役 竹内 大志

株式会社慈恵実業 代表取締役社長 石塚 雄三

株式会社じほう 代表取締役会長 武田正一郎

清水建設株式会社 代表取締役社長 新村 達也

株式会社集英社 代表取締役社長 林 秀明

株式会社シエルター 代表取締役会長 木村 一義

ショーボンドホールディングス株式会社
代表取締役社長 岸本 達也

株式会社ジャックス 代表取締役社長 村上 亮

株式会社ジンテック 代表取締役社長 柳 秀樹

杉山商事株式会社 代表取締役会長 杉山 健

住友パークライト株式会社
代表取締役社長 藤原 一彦

株式会社スプリックス
代表取締役社長 常石 博之

全国保証株式会社 代表取締役社長 青木 裕一

第一倉庫株式会社 会長 小泉 駿一

株式会社泰秀 代表取締役社長 野口 通子

大正製薬株式会社 代表取締役社長 上原 茂

大日本除虫菊株式会社
代表取締役社長 上山 直英

大和製罐株式会社 代表取締役社長 山口 裕久

高砂熱学工業株式会社
代表取締役社長COO 社長執行役員 小島 和人

TANAKEN株式会社
代表取締役社長 中尾 安志

千歳コーポレーション株式会社
取締役社長 永田 裕之

千代田化工建設株式会社
代表取締役社長 太田 光治

株式会社千代田テクノル
代表取締役会長 細田 敏和

塚本総業株式会社 代表取締役社長 塚本 素清

ディアンドデパートメント株式会社
代表 ナガオカケノメイ

学校法人帝京大学 理事長 冲永 佳史

株式会社T&Aマネジメント
代表取締役 長田忠千代

THK株式会社 代表取締役会長 寺町 彰博

株式会社電通
代表取締役 社長執行役員 松本 千里

東亜建設工業株式会社
代表取締役社長 早川 毅

株式会社東急コミュニティー
取締役社長 木村 昌平

東京海上日動火災保険株式会社
取締役社長 城田 宏明

株式会社東京交通会館
代表取締役社長 細包 憲志

東京美装興業株式会社
代表取締役社長 八木 秀記

東洋熱工業株式会社
代表取締役社長 谷口 昌伸

戸田建設株式会社 代表取締役会長 今井 雅則

学校法人東京音楽大学 理事長 丸山恵一郎

株式会社永田音響設計
代表取締役社長 小口 恵司

株式会社ナミキ 代表取締役会長 並木 洋一

日鉄興和不動産株式会社
代表取締役社長 三輪 正浩

株式会社ニフコ 代表取締役社長 柴尾 雅春

日本精工株式会社
取締役 代表執行役社長・CEO 市井 明俊

日本製鉄株式会社 代表取締役社長 今井 正

日本電子株式会社
代表取締役社長 兼 CEO 大井 泉

日本パーカライジング株式会社

株式会社ネイチャーズウェイ
代表取締役社長 萩原 吉晃

根本特殊化学株式会社
代表取締役社長 根本美恵子

ハウス食品グループ本社株式会社
代表取締役社長 浦上 博史

株式会社博報堂 代表取締役社長 名倉 健司

株式会社バッファロー
代表取締役社長 牧 寛之

ハナマルキ株式会社 代表取締役社長 花岡周一郎

阪和興業株式会社 代表取締役社長 中川 洋一

税理士法人ヒイラギ 代表社員税理士 黒田 榮治

東日本住宅株式会社 代表取締役 桃野 直樹

株式会社美禪 代表取締役 堀 哲昭

非破壊検査株式会社
代表取締役社長 山口多賀幸

ひびき・パース・アドバイザーズ
代表取締役社長 清水 雄也

株式会社ファミーコ 代表取締役 新庄真帆子

富国生命保険相互会社
代表取締役社長 渡部 毅彦

富士テレコム株式会社
代表取締役社長 土井 寛

古河産業株式会社 代表取締役社長 伊藤 啓真

合同会社ベルファーマシー
代表社員 前島 景子

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
代表取締役社長 池田 孝資

株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長 吉村 隆

株式会社牧野フライス製作所
取締役社長 宮崎正太郎

マネックスグループ株式会社
代表執行役社長CEO 清明 祐子

株式会社丸井グループ
代表取締役社長 青井 浩

株式会社丸の内よろず 取締役社長 中村 正博

丸文株式会社
代表取締役社長兼最高経営責任者 堀越 裕史

丸美屋食品工業株式会社
代表取締役社長 阿部豊太郎

株式会社三井住友銀行 頭取CEO 福留 朗裕

三井倉庫ホールディングス株式会社
代表取締役社長 古賀 博文

三井不動産株式会社
代表取締役会長 菰田 正信

三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員 久井 大樹

三菱オートリース株式会社
代表取締役社長 高井 直哉

三菱ガス化学株式会社
代表取締役社長 伊佐早禎則

三菱総研DCS株式会社
代表取締役社長 亀田 浩樹

三菱地所株式会社 執行役社長 中島 篤

三菱重工工業株式会社 取締役会長 泉澤 清次

三菱倉庫株式会社
代表取締役 社長 齊藤 秀親

株式会社三菱UFJ銀行 頭取 半沢 淳一

三菱UFJ証券ホールディングス株式会社
取締役社長兼CEO 小林 真

武蔵商事株式会社 代表取締役 宇田川紀通

明治安田生命保険相互会社
取締役代表執行役社長 永島 英器

メッドサポートシステムズ株式会社
代表取締役 谷川ひとみ

株式会社メディアグラフィックス
代表取締役社長 我妻まどか

森社会保険労務士事務所 所長 森 康之

株式会社ヤクルト本社
終身名誉会長 堀 澄也

山崎製パン株式会社

UBE株式会社 取締役会長 泉原 雅人

コウキフーツシステム株式会社
代表取締役社長 田中 秀和

横河電機株式会社

米持建設株式会社 代表取締役 米持 大介

リガク・ホールディングス株式会社
代表取締役社長 川上 潤

株式会社リョーサン
代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦

株式会社Rings 代表取締役 矢部 和広

株式会社リンレイ 代表取締役社長 鈴木 信也

ローム株式会社
代表取締役社長 社長執行役員 東 克己

匿名5名

青山やすし 東京都	岩瀬 順子 神奈川県	加藤 壹康 静岡県	坂井 康柄 神奈川県	竹下 淑子 神奈川県	新倉 啓介 東京都	松尾 東京都	油井 直次 東京都
秋元 和美 東京都	岩田 達明 神奈川県	加藤 丈夫 東京都	定形 哲 神奈川県	竹中富知男 東京都	西澤 豊 東京都	松田 譲 東京都	横川 直 東京都
明田 重樹 東京都	上田 泰邦 東京都	加藤 久喜 東京都	佐藤 武男 東京都	田中稀一郎 東京都	西谷 公男 東京都	松村 美希 東京都	吉江 健志 千葉県
浅野 純次 埼玉県	上野悦子・陽子 東京都	加藤 頼宣 東京都	佐藤 寛之 東京都	田仲 博幸 東京都	西村 醇子 神奈川県	真野美千代 東京都	吉川 美保 東京都
朝吹 英和 東京都	宇賀神裕子 静岡県	金子 修 埼玉県	佐藤 正昭 東京都	田辺三基男 東京都	二村 英之 東京都	三木恵美子 神奈川県	吉田 貴美 神奈川県
厚田 理郎 東京都	臼井 潤 東京都	金子 清 千葉県	佐藤 正知 東京都	田村 一 山梨県	布村 清美 東京都	三木 繁光 東京都	吉田 公彦 神奈川県
阿部 俊彰 神奈川県	内村 恒彦 神奈川県	金子 肇 千葉県	佐藤 順英 福島県	田村 浩章 東京都	沼口 順子 東京都	峯島 茂之 東京都	吉田 知世 東京都
新井 康允 神奈川県	江口 麗子 東京都	香山 和子 神奈川県	座間 淑美 神奈川県	塚本 和久 東京都	根本 直之 千葉県	宮川 和哉 神奈川県	吉村 真幸 埼玉県
荒木 秀隆 東京都	大久保 昇 神奈川県	川合 孝一 千葉県	澤井 敏雄 東京都	辻 雅夫 東京都	野谷 文昭 東京都	宮本 裕二 兵庫県	吉村 匡則 東京都
荒蒔康一郎 東京都	大竹 広明 神奈川県	河田 義宏 東京都	島田 精一 東京都	蔦井 厚伸 東京都	箱崎 一彦 千葉県	村上 純子 埼玉県	若林 昭子 東京都
有江 純子 神奈川県	太田 達男 千葉県	菅野 治幸 神奈川県	島田 晴雄 東京都	津田 義久 東京都	蓮見 正純 東京都	村上 洋美 東京都	渡辺 和子 東京都
安西祐一郎 東京都	大塚 宣夫 東京都	菊池 和美 東京都	清水 幸雄 東京都	常石 博之 東京都	原 俊 千葉県	村上 泰郎 東京都	渡邊規久雄 東京都
飯田 桂子 東京都	大坪 昌広 東京都	喜多菟久江 東京都	下河辺美知子 神奈川県	積田 孝一 東京都	原 幸男 静岡県	持田 泰 東京都	渡邊 直 東京都
飯田 百栄 東京都	大森 京太 東京都	北村 篤嗣 埼玉県	下田 英一 東京都	一般社団法人 東京フロイデ合唱団 東京都	針谷 博史 東京都	元永 徹司 神奈川県	渡邊 裕志 山口県
家近 茂 東京都	岡田 尚子 埼玉県	北村 裕 神奈川県	生島 貴司 千葉県	東瀬 朗 新潟県	日高 好男 東京都	森 稔樹 神奈川県	Maru
家近 信子 東京都	岡田 雅史 神奈川県	木下 盛弘 東京都	晋友会合唱団 東京都	時枝 直満 東京都	平井 邦子 神奈川県	森川 智之 神奈川県	M.K.
五十嵐重雄 東京都	荻窪祝祭管弦楽団 東京都	木村 恵司 神奈川県	菅 千太郎 東京都	徳田 陽一 東京都	平田 邦夫 神奈川県	森田 大輔 神奈川県	匿名64名
池浦 慧 東京都	久野 哲男 千葉県	久野 哲男 千葉県	杉本 功 東京都	外山 雄三 東京都	広瀬 晴子 神奈川県	森田ハルヨ 東京都	
池田 博 東京都	尾澤 弘久 東京都	久保田伸一 群馬県	杉山 秀子 東京都	中尾 誠利 神奈川県	廣田 直人 東京都	矢口 敏和 千葉県	
池野 隆光 東京都	尾上 洋子 東京都	倉谷 宏樹 東京都	杉山 浩明 東京都	ナガオカケンメイ 東京都	深沢 茂実 神奈川県	矢倉 俊紀 東京都	
池谷 光司 東京都	小野寺けい子 岩手県	栗原真知子 埼玉県	鈴木 祐二 東京都	中島 奈穂 東京都	深見 敏正 東京都	山上 典彦 東京都	
石澤 卓志 千葉県	小野寺健一 岩手県	黒田 真二 神奈川県	住野 公一 東京都	中島美知子 東京都	福井 英次 東京都	山岸 陽子 東京都	
石塚 邦雄 東京都	小幡 尚孝 東京都	畔柳 信雄 東京都	関 兼英 東京都	長瀬 雅則 東京都	福田 昭夫 東京都	山口 幸子 東京都	
石津 寿恵 東京都	小原 道生 東京都	甲賀 一宏 埼玉県	妹尾 絲子 東京都	中園 和博 東京都	藤沢 薫 東京都	山口 仁栄 東京都	
石橋 秀雄 神奈川県	折田 昌子 東京都	胡口 靖夫 東京都	仙石 通泰 東京都	中西 祥子 東京都	藤野 盾臣 東京都	山口 岳彦 栃木県	
伊藤 貴博 東京都	風間 沙織 神奈川県	小林 和夫 東京都	宗 神子 大分県	永野 琢夫 東京都	藤原 真也 東京都	山口 達之 長崎県	
伊藤 昌司 東京都	賀澤 裕三 福島県	小林こずえ 東京都	染野 郁郎 東京都	中村 公一 東京都	星 桂太郎 東京都	山口みどり 東京都	
伊藤 好彦 東京都	鹿島 英裕 東京都	小林 政雄 長野県	空田 幸徳 東京都	中山 彩 東京都	細谷 義徳 千葉県	山越 章弘 長野県	
井上 直人 東京都	片貝 英重 東京都	小林 裕美 東京都	高井 延幸 神奈川県	那須 雄治 東京都	牧野 澄夫 東京都	山田 敏之 神奈川県	
井上 浩良 東京都	片山 英二 東京都	駒見 俊彦 東京都	高木 宏忠 東京都	棗 年紀・綾 東京都	増井 俊之 神奈川県	山田 宏己 東京都	
井上 正敏 千葉県	片山 茂 千葉県	五味 康昌 神奈川県	高須 幸雄 東京都	町田 公志 東京都	増田 文彦 神奈川県	山本 高稔 東京都	
岩沙 弘道 東京都	桂 史子 東京都	齋藤 武則 東京都	高田 信子 東京都			山本 棟子 東京都	

青木 孝	神谷 薫	住江 慶子	早川征一郎
青木 隆	萱場 基	隅田 真	深沢 茂実
赤星 弥生	岸田 正博	高津 正徳	藤井 行雄
荒井 隆志	北宮千恵子	武井 新	藤川 寿彦
有田 正治	木村 繁	武田 幸子	藤村 文二
石田 尚身	倉田 茂	田中 諄	古川 武志
石田 英雄	蔵貫 義朗	坪井 憲治	古瀬 明弘
伊藤 正明	斎木 典子	東保裕の介	本堂 毅
岩崎 貞明	坂本 博志	富澤 裕	増田 文彦
海野 尚久	相良 幸男	富田 節子	松井 務
大塚 宏二	佐藤 安雄	永井 福枝	皆川 文弘
小田倉 正	清水 浩憲	永田 康	三好 敦生
柏崎 和枝	下山 泰彦	中山 泰子	渡辺 勝次
鹿島 道	菅原 章文	野中 和行	渡辺 政則
加藤 明	鈴木 重行	羽田 洋子	
金本 順子	鈴木 富美	羽生 賢次	

「音楽の森」へようこそ — 音楽と社会をつなぐ現場から

この『あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ』では、日本フィルが音楽を通して社会とどのように関わっているのかを、さまざまな現場からご紹介していきます。

このページを執筆しているのは、日本フィルで社会性活動を主に担っている「音楽の森」という部署です。音楽の森では、音楽を手がかりに社会とどのようにつながれるのか、音楽を通して何ができるのかを日々考えながら活動しています。スタッフはオーケストラ公演の際にロビーにもおりますので、もし見かけた際にはぜひお気軽にお声がけください。

さて、今月号はこれから始まる連載の導入として、日本フィルの社会性活動の全体についてご紹介します。

日本フィルの活動は、コンサートホールの舞台の上だけにとどまりません。学校や高齢者施設での訪問演奏(アウトリーチ)、被災地への継続的な訪問、地域と連携したまちづくりの取り組みなど、音楽を通して人や地域、そして社会とつながる活動にも取り組んでいます。

こうした活動では、演奏を届けることそのものだけでなく、その場に生まれる対話やまなざし、共有される時間そのものにも大きな価値があると私たちは考えています。

また、長く続く活動の中で多くの方々との出会いや交流を通して、音楽の役割の広がりを改めて感じる場面も増えてきました。

価値観の多様化や地域社会の問題の複雑化など、私たちを取り巻く環境は日々変化しています。そうした中で日本フィルは、「今、社会から何が求められているのか」「音楽家として何ができるのか」を問いながら活動を続けています。

初めてこのページをご覧になる方には、「日本フィルって、こんなこともしているんだ」と感じていただけたら嬉しく思います。そして、すでにこうした活動をご存じの方や、これまで関心を寄せてくださっていた方には、活動の背景や現場での出来事をこれまで以上に身近に感じていただけたら幸いです。

音楽が聴衆の皆さんとの出会いによってその力を発揮するように、私たちの社会性活動もまた、多くの人々の共感や支えによって育まれてきました。これからお届けする連載を通して、皆さまと「音楽と社会のつながり」を一緒に見つめていけたらと思っています。

日本フィルハーモニー交響楽団 70周年記念特別東京定期演奏会

東京定期演奏会
会場/サントリーホール
東京芸術劇場(1月、3月)
金曜日/19:00開演
土曜日/14:00開演

◆春夏

2026 4 April	【第779回】サントリーホール 10日(金)、11日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 合唱団 Ys席 ¥2,500	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ソプラノ:森谷 真理 メゾソプラノ:林 美智子 テノール:村上 公太 バリトン:大西 宇宙 合唱:晋友会合唱団 ベートーヴェン(マーラー編曲):交響曲第9番《合唱》
2026 5 May	【第780回】サントリーホール 22日(金)、23日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:アレクサンダー・リープライヒ チェロ:佐藤 晴真 ハイドン:交響曲第44番《悲しみ》 三善寛(こだま)つり星(チェロ協奏曲第2番) 武満徹:群島 S. R.シュトラウス:交響詩《死と変容》
2026 6 June	【第781回】サントリーホール 6日(土)、7日(日) (東京金曜会対象公演/ 6月のみ日曜14:00になります) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:広上 淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ヴァイオリン:服部 百音 ガーシュウィン:《ワリのアメリカー》 ファジル・サイ:ヴァイオリン協奏曲《ハーレムの千一夜》 コーブランド:交響曲第3番
2026 7 July	【第782回】サントリーホール 10日(金)、11日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:フランソワ・ルルー ヴァイオリン:諏訪内 晶子 ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 プロコフィエフ:交響曲第5番
2026 9 September	【第783回】サントリーホール 11日(金)、12日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ショスタコヴィチ: 交響曲第7番《レニングラード》

◆秋冬

2026 10 October	【第784回】サントリーホール 16日(金)、17日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:山田 和樹 ヴァイオリン:ヴィルデ・フラング 間宮芳生:二重合奏協奏曲 *日本フィル・シリーズ第16作 バルトーク:ヴァイオリン協奏曲第2番 チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》
2026 11 November	【第785回】サントリーホール 13日(金)、14日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:小林 研一郎[桂冠名譽指揮者] スメタナ:連作交響詩《我が祖国》全曲
2026 12 December	【第786回】サントリーホール 4日(金)、5日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:沖澤 のどか ピアノ:阪田 知樹 レーガー:ピアノ協奏曲 ブラームス:交響曲第2番
2027 1 January	【第787回】東京芸術劇場 29日(金)、30日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ブルックナー:交響曲第8番
2027 3 March	【第788回】東京芸術劇場 12日(金)、13日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	指揮:ピエタリ・インキネン ピアノ:アレクサンデル・メルニコフ ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 R.シュトラウス:交響詩《英雄の生涯》

半期秋冬定期会員券(2026年10月~2027年3月/全5回) 発売日 2026年6月18日(木)発売

S席 ¥35,000 A席 ¥30,000 B席 ¥26,000 C席 ¥21,000 P席 ¥17,000 Ys席 ¥9,000

春夏【1回券】	秋冬【1回券】
好評発売中	2026年7月15日(水)発売

日本フィルハーモニー交響楽団 70周年記念特別横浜定期演奏会

横浜定期演奏会
会場/横浜みなとみらいホール
土曜日/15:00開演
(11月のみ日曜開催)

◆春夏

2026 4 April	【第416回】 25日(土) 【1回券】S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500 C席 ¥5,500 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:尾高 忠明 ヴァイオリン:前橋 汀子 ディーリアス:楽園への道(歌劇《村のロメオとジュリエット》より) メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 シベリウス:交響曲第5番
2026 5 May	【第417回】 9日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:小林 研一郎[桂冠名譽指揮者] ピアノ:小山 実稚恵 ベートーヴェン:《エグモント》序曲 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番 ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》
2026 6 June	【第418回】 27日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:広上 淳一[フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)] ヴァイオリン:ボリス・ベルキン モーツァルト:歌劇《劇場支配人》序曲 ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番 ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》
2026 7 July	【第419回】 4日(土) 【1回券】S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500 C席 ¥5,500 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:西本 智実 ピアノ:實川 風 サン＝サーンス:歌劇《サムソンとデリラ》より「パッカナール」 グリーグ:ピアノ協奏曲 チャイコフスキー:交響曲第6番《悲愴》
2026 9 September	【第420回】 19日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:指揮:オッコ・カム ピアノ:河村 尚子 ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 ストラヴィンスキー:バレエ音楽《春の祭典》

◆秋冬

2026 10 October	【第421回】 31日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:小林 研一郎[桂冠名譽指揮者] オーボエ:杉原 由希子[首席奏者] クラリネット:伊藤 寛隆[首席奏者] ホルン:長木 碩才[首席奏者] ファゴット:田吉 佑久子[首席奏者] モーツァルト:ディヴェルティメント 二長調 K.136 モーツァルト:協奏交響曲 変奏長調(オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴットのための)K.297b ベートーヴェン:交響曲第7番
2026 11 November	【第422回】 22日(日) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ピアノ:サー・ステイヴン・ハフ ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》 サン＝サーンス:交響曲第3番《オルガン付き》
2026 12 December	【第423回】 19日(土) 【1回券】S席 ¥10,000 A席 ¥9,000 B席 ¥7,500 C席 ¥6,000 P席 合唱団 Ys席 ¥4,000	指揮:阪 哲朗 ソプラノ:隠岐 彩夏 カウンターテナー:藤木 大地 テノール:小堀 勇介 バリトン:池内 響 合唱:東京音楽大学合唱団 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》
2027 1 January	【第424回】 9日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] トランペット:児玉 隼人 ハチャトゥリアン:組曲《仮面舞踏会》 ハイドン:トランペット協奏曲 変奏長調 Hob.VIe:1 「シュトラウスII世:喜歌劇《こもり》序曲」 「シュトラウスII世:ワルツ《美しく青きドナウ》 ラヴェル:《ダフニスとクロエ》第2組曲
2027 3 March	【第425回】 27日(土) 【1回券】S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	指揮:カーチン・ウォン[首席指揮者] ヴァイオリン:田野倉 雅秋[ソロ・コンサートマスター] ポロティン:歌劇《イゴール》序曲 ハチャトゥリアン:ヴァイオリン協奏曲 二短調 ムソルグスキー:リムスキー＝コルサコフ編曲:交響詩《はげ山の一夜》 レスピーギ:交響詩《ローマの松》

半期秋冬定期会員券(2026年10月~2027年3月/全5回) 発売日 2026年6月18日(木)発売

S席 ¥34,000 A席 ¥29,000 B席 ¥25,000 C席 ¥21,000 P席 ¥14,000(12月を除く全4回) Ys席 ¥9,000

春夏【1回券】	秋冬【1回券】
好評発売中	2026年7月15日(水)発売

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック

<https://members.tvuch.com>



メンバーズ TVU チャンネルは、クラシック音楽のコンサートの臨場感をいつでもどこでもお楽しみいただけるインターネット・サイトです。コンサートホールからのライブ配信、さらにコンサートが終わったあともアーカイブ映像としていつでも視聴可能です。日本フィルの配信は1,000円で視聴可能期間は何度でもご視聴いただけます(特に記載のないものは販売期間は6ヶ月、購入後3ヶ月視聴可能です)。

まずはID登録! メールアドレスとパスワードのみで簡単!

第774回 東京定期演奏会 | 2025年10月17日

指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:小川 典子* トランペット:オッタビアーノ・クリストーフォリ* ショスタコーヴィチ:ピアノ協奏曲第1番* ショスタコーヴィチ:交響曲第11番《1905年》

第775回 東京定期演奏会 | 2025年10月31日

指揮:小林 研一郎 ヴァイオリン:千葉 清加 ヴィオラ:安達 真理
モーツァルト:ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 シベリウス:交響曲第2番

第412回 横浜定期演奏会 | 2025年11月22日

指揮:太田 弦
チャイコフスキー:交響曲第5番

第九特別演奏会2025 | 2025年12月28日

指揮:小林 研一郎 オルガン:石丸 由佳* ソプラノ:小川 葉奈 メゾソプラノ:山下 牧子
テノール:錦織 健 バリトン:青山 貴 合唱:日本フィルハーモニー協会合唱団
J.S.バッハ:トッカータとフーガ ニ短調 BWV565*
ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》 他

第777回 東京定期演奏会 | 2026年1月17日

指揮:広上 淳一
ショスタコーヴィチ:交響曲第15番 イ長調 op.141

第414回 横浜定期演奏会 | 2026年1月24日

指揮:ヴァイオリン:ヴィルフリート・和樹・ヘーデンボルク
ベートーヴェン:《献堂式》序曲 モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3番 他

第415回 横浜定期演奏会 | 2026年3月21日

指揮:小林 研一郎 クラリネット:伊藤 寛隆
モーツァルト:クラリネット協奏曲 ベートーヴェン:交響曲第3番《英雄》

第779回 東京定期演奏会 | 2026年4月10日

指揮:カーチュン・ウォン ソプラノ:森谷 真理 メゾソプラノ:林 美智子 テノール:村上 公太
バリトン:大西 宇宙 合唱:晋友会合唱団
ベートーヴェン(マラー[修正版]):交響曲第9番《合唱》

INFORMATION

■ 2026年7月及び、9月の公演内容について

客員首席指揮者ネーメ・ヤルヴィ氏及び、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ氏の来日中止に伴い、調整中としておりました2026年7月の第782回東京定期演奏会、9月の第783回東京定期演奏会、第420回横浜定期演奏会・第83回杉並定期演奏会の内容が確定いたしましたので謹んでお知らせ申し上げます。

第782回 東京定期演奏会	好評発売中
2026年7月10日(金)19:00、11日(土)14:00	サントリーホール
指揮:フランソワ・ルルー ヴァイオリン:諏訪内 晶子 ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 プロコフィエフ:交響曲第5番	
S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	

第783回 東京定期演奏会	好評発売中
2026年9月11日(金)19:00、12日(土)14:00	サントリーホール
指揮:カーチュン・ウォン[首席指揮者] ショスタコーヴィチ:交響曲第7番《レニングラード》ハ長調 op.60	
S席 ¥10,000 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500 C席 完売 P席 ¥5,000 Ys席 ¥2,500	
※曲目、チケット料金は変更ございません。	

第420回 横浜定期演奏会	好評発売中
2026年9月19日(土)15:00	横浜みなとみらいホール
指揮:オッコ・カム ピアノ:河村 尚子 ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 op.18 ストラヴィンスキー:バレエ音楽《春の祭典》 (横浜)S席 ¥9,500 A席 ¥8,000 B席 ¥7,000 C席 ¥6,000 P席 完売 Ys席 ¥2,500	
※ピアニスト、協奏曲は変更ございません。	

第83回杉並定期演奏会(9月20日)については、杉並公会堂ホームページをご覧ください。

■ 定年のお知らせ

ヴィオラの中川裕美子が2026年3月26日に定年を迎えました。中川は1987年5月に入団し、ヴィオラ・セクションの要として活躍してまいりました。定年後も引き続き嘱託の奏者として演奏いたします。今後もご期待ください。

定期会員券ご寄付のお願い	お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。
3月の東京・横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。 (50音順・敬称略)長島 光代、村上 一平、匿名7名	
ご寄付の方法	ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。
※公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。※会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願い致します。※ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送致します。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願い致します。	
日本フィル・サービスセンター	〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL:03-5378-5911(平日10時~17時) FAX:03-5378-6161(24時間) E-mail:order-ticket@japanphil.or.jp

演奏中のマナーにご協力をお願いいたします

電源OFF	アラームOFF	電源OFF	演奏中は携帯電話や時計のアラームなどデジタル機器の電源はお切りください。
音にご注意を	ビニール袋 靴にしまう、またはいすの下へ置くなど物音がたたないようにご配慮ください。	マジックテープやファスナーの音 開け閉めの音は意外に響きます。演奏前にご確認ください。	
	鮎の袋 客席内の飲食はご遠慮いただいております。お咳の予防等ご利用の際は、演奏前にお口の中に入れるか、あらかじめ袋から出しておく等のご準備をお願いいたします。	鈴などアクセサリがついたストラップ 靴にしまうなど鳴らないようにご配慮ください。	
	補聴器の音 ハウリングをおこさないよう、しっかりと装着し、適切な音量に調整をお願いいたします。		
声と拍手にご注意を	私語	せき	演奏中の私語はご遠慮ください。咳をする時はハンカチなどで口を覆って響かないようご配慮を。また、拍手やブラボーは指揮棒がおりてから最後の余韻までお楽しみください。
撮影禁止	録音禁止	録画禁止	写真撮影禁止 演奏中の録音・録画・写真撮影は、固くお断りしております。 ※演奏終了後に写真撮影可能な公演がございます。詳細は公演時にご案内いたします。
周辺にご配慮を	身を乗り出さない	つばの広い／高さのある帽子	席から身を乗り出したり、着用している帽子が後ろの席の視界を遮っていることございます。周辺にご配慮を。



終演時のカーテンコールで写真撮影が可能です。
撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。

撮影に関しては以下のルールを守ってくださいますようお願い申し上げます

- ・アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください
- ・スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影はご遠慮ください
- ・フラッシュの使用はお控えください
- ・動画の撮影はお控えください
- ・撮影の際、手を高く上げるなど周りのお客様のご迷惑になる行為にご注意ください
- ・自席にご着席のまま撮影をお願いいたします
- ・SNS等に掲載する際は、ほかのお客様のうつりこみにご注意ください
- ・自撮り棒などの使用はお控えください
- ・演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください(録音・録画は違法行為です)

SNSに投稿いただく際は、ハッシュタグ #日本フィル #japanphil をつけてください！



©飯田 耕治

日本フィルハーモニー交響楽団

1956年6月創立。楽団創設の中心となった渡邊暁雄が初代常任指揮者を務める。

創立当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで、ドイツ・オーストリア系を中心としていた当時の楽壇に新風を吹き込み、大きなセンセーションを巻き起こした。創立期から始められた「日本フィル・シリーズ」は、日本の音楽史上でも例のない委嘱制度として三善晃、武満徹、細川俊夫をはじめ幅広い層の邦人作曲家へ委嘱を行い、現在までに42作が世界初演され、すでに「古典」と呼ぶにふさわしいポピュラリティを獲得したものも少なくない。

2023年9月よりカーチン・ウォンが首席指揮者を務め、その独創性と真摯さに裏付けられた音楽作りが注目されている。近年の高い演奏力と積極的なプログラミングは「21世紀の日本のオーケストラが目指すべき方向を明確に示す」と評価され、2023年度ミュージックペンクラブ音楽賞を受賞した。さらに桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一という指揮者陣を中心に東京・横浜・杉並・さいたま・相模原での定期演奏会をはじめ年間約150回のオーケストラ公演を行う。

芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、世界へ音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。

1975年から続く夏休みコンサートは親子三世代で楽しめるファミリーコンサートの草分け的存在。学校や介護施設等への訪問コンサートは年間約200回を数える。さらに音楽との出会いの場を広げる創造・体験型ワークショップは、日本のオーケストラにおける先駆的な取り組みとして注目されている。音楽を通じて多くの方々とながら、日本フィルならではの取り組みを社会の隅々へと広げている。

全国各地で地域と協働しながら音楽を通したコミュニティの活性化と、地域文化の発展を目指す長期的な活動も積極的に行っており、特に九州全県で行う九州公演は1975年よりその歴史を刻む。また、1994年に杉並区と友好提携を結び、杉並公会堂を本拠地とし、「杉並定期演奏会」や「60歳からの楽器教室」など地域に密着した活動を展開している。

さらに東日本大震災の直後、2011年4月より「被災地に音楽を」を開始。その数は360回を超える。これらが「若い世代への未来への希望を育てている」ことに対し、2022年に第16回後藤新平賞が授与された。

指揮者

Conductor

創立指揮者	渡邊 暁雄 WATANABE Akeo
桂冠名誉指揮者	小林 研一郎 KOBAYASHI Ken-ichiro
名誉指揮者	ルカーチ・エルヴィン Lukács ERVIN
名誉指揮者	ジェームズ・ロツホラン James LOUGHRAN
客員首席指揮者	ネーム・ヤルヴィ Neeme JÄRVI
首席指揮者	カーチュン・ウオン Kahchun WONG
桂冠指揮者 兼 芸術顧問	アレクサンドル・ラザレフ Alexander LAZAREV
フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)	広上 淳一 HIROKAMI Junichi

コンサートマスター

Concertmaster

			
ソロ・コンサートマスター 扇谷 泰朋 OGITANI Yasutomu	ソロ・コンサートマスター 木野 雅之 KINO Masayuki	ソロ・コンサートマスター 田野倉 雅秋 TANOKURA Masaaki	アシスタント・コンサートマスター 千葉 清加 CHIBA Sayaka

第1ヴァイオリン

1st Violin

					
伊藤 太郎 ITO Taro	太田 麻衣 OTA Mai	九鬼 明子 KUKI Akiko	齋藤 政和 SAITO Masakazu	榊 渚 SAKAKI Nagisa	
					
竹歳 夏鈴 TAKETOSHI Karin	谷崎 大起 TANIZAKI Hiroki	田村 昭博 TAMURA Akihiro	中谷 郁子 NAKAYA Ikuko	西村 優子 NISHIMURA Yuko	平井 幸子 HIRAI Sachiko

第2ヴァイオリン

2nd Violin

				
遠藤 直子 ENDO Naoko	大貫 聖子 ONUKI Seiko	岡田 紗弓 OKADA Sayumi	神尾 あずさ KAMIO Azusa	佐藤 駿一郎 SATO Shun-ichiro
				
末廣 紗弓 SUEHIRO Sayumi	豊田 早織 TOYODA Saori	町田 匡 MACHIDA Tadashi	松川 葉月 MATSUKAWA Hazuki	山田 千秋 YAMADA Chitose

ヴィオラ

Viola

				
客演首席奏者 安達 真理 ADACHI Mari	江藤 史織 ETO Shiori	小俣 由佳 OBATA Yuka	小中澤 基道 KONAKAZAWA Motomichi	児仁井 かおり KONII Kaori
				
高橋 智史 TAKAHASHI Satoshi	中川 裕美子 NAKAGAWA Yumiko	中溝 とも子 NAKAMIZO Tomoko	松澤 稚奈 MATSUZAWA Wakana	

ソロ・チェロ

Solo Violoncello

	
ソロ・チェロ 門脇 大樹 KADOWAKI Hiroki	ソロ・チェロ 菊地 知也 KIKUCHI Tomoya

チェロ

Violoncello

				
石崎 美雨 ISHIZAKI Miu	伊堂寺 聡 IDOJI Satoshi	江原 望 EHARA Nozomu	大澤 哲弥 OSAWA Tetsuya	久保 公人 KUBO Masato
				
篠原 和仁 SHINOHARA Kazuhito	山田 智樹 YAMADA Tomoki			

コントラバス

Contrabass

				
鈴木 優介 SUZUMURA Yusuke	成澤 美紀 NARUSAWA Miki	宮坂 典幸 MIYASAKA Noriyuki	森田 麻友美 MORITA Mayumi	山口 雅之 YAMAGUCHI Masayuki

フルート

Flute

		
首席奏者 真鍋 恵子 MANABE Keiko	斎藤光晴 SAITO Mitsuharu	難波 薫 NAMBA Kaoru

オーボエ

Oboe



首席奏者
杉原 由希子
SUGIHARA Yukiko



副首席奏者
松岡 裕雅
MATSUOKA Hiromasa



佐竹 真登
SATAKE Masato

クラリネット

Clarinet



首席奏者
伊藤 寛隆 (楽団長)
ITO Hiroataka



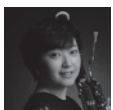
副首席奏者
楠木 慶
KUSUNOKI Kei



照沼 夢輝
TERUNUMA Yumeki

ファゴット

Bassoon



首席奏者
田吉 佑久子
TAYOSHI Yukuko



副首席奏者
鈴木 一志
SUZUKI Hitoshi



中川 日出鷹
NAKAGAWA Hidetaka

ホルン

Horn



客演首席奏者
丸山 勉
MARUYAMA Tsutomu



首席奏者
信末 碩才
NOBUSUE Sekitoshi



伊藤 舜
ITO Shun



原川 翔太郎
HARAKAWA Shotaro



村中 美菜
MURANAKA Mina

ソロ・トランペット

Solo Trumpet



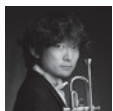
ソロ・トランペット
オッタビアーノ・
クリストーフォロ
Ottaviano CRISTOFOLI

トランペット

Trumpet



首席奏者
大西 敏幸
ONISHI Toshiyuki



副首席奏者
犬飼 伸紀
INUKAI Nobuki



星野 究
HOSHINO Kiyamu

トロンボーン

Trombone



首席奏者
伊藤 雄太
ITO Yuta



副首席奏者
笠間 勇登
KASAMA Yuto



福島 莉那
FUKUSHIMA Hana

バス・トロンボーン

Bass Trombone



中根 幹太
NAKANE Mikita

ティンパニ

Timpani



首席奏者
エリック・パケラ
Eric PIEKARA



副首席奏者
池田 健太
IKEDA Kenta

パーカッション

Percussion



大河原 渉
OKAWARA Wataru



本間 雄也
HOMMA Yuya

テューバ

Tuba



柳生 和大
YAGYU Kazuhiro

ハープ

Harp



松井 久子
MATSUI Hisako

写真 ©井村重人

楽団長

チーフステージマネージャー
ステージスタッフ
チーフインスペクター
インスペクター
ライブラリアン

伊藤 寛隆
阿部 紋子
長橋 健太/森田 大翔
佐藤 駿一郎
鈴木 優介/谷崎 大起
鬼頭 さやか/坂庭 史映/杉本 哲也

理事長(代表理事)

副理事長(代表理事)
専務理事(代表理事)
常務理事(代表理事)
理事

石塚 邦雄
五味 康昌
福井 英次
後藤 朋俊
石井 啓一郎/佐々木 経世/田村 浩章
戸所 邦弘/葉田 順治/福本 ともみ
別府 一樹

監事

評議員会会長
評議員

福澤 宏哉/細谷 義徳
加藤 丈夫
青井 浩/安孫子 正/荒崎 康一郎
石村 等/稲垣 尚/内川 清雄
大塚 宣夫/梶浦 卓一/河北 博文
喜多 崇介/木村 恵司/久保田 隆
小林 研一/島田 精一/津田 義久
中根 幹太/西澤 豊/野間 省伸
福満 一夫/村上 典史子/山口 多賀幸
平井 俊邦
熊谷 直彦/島田 晴雄/田邊 稔

特別顧問

名誉顧問

マネジメントスタッフ

浅見 浩司/磯部 一史/江原 陽子
及川 ひろか/小川 紗智子/萩島 里帆
賀澤 美和/香取 春子/金田 雅子
小須田 萌/佐々木 文雄/澤田 智夫
篠崎 めぐみ/杉山 綾子/杉山 まどか
高橋 勇人/田中 正彦/橋合 祐子
中村 沙織里/西田 大輔/西田 真菜
長谷川 珠子/樋高 雄太/藤田 千明
古館 順一/堀川 桂/宗澤 晶子
山岸 淳子/吉岡 浩子/和田 美希

チーフマーケティングオフィサー シニア・パートナー

伊藤 治彦
新井 康允/永島 義郎/南部 洋一
吉江 信博

団友

青柳 哲夫/青山 均/赤堀 泰江
新井 豊治/石井 啓一郎/伊藤 恒男
伊波 睦/宇田 紀夫/遠藤 功
遠藤 剛史/大石 修/寛 美知子
柏熊 由紀子/加藤 祐一/金本 順子
蒲谷 隆行/川口 和宏/川口 貴
菊田 秋一/岸良 開城/吉川 利幸
木村 正伸/小山 清/斎藤 千穂
佐々木 裕司/佐藤 玲子/菅原 光
高木 裕子/高木 雄司/高木 洋
高倉 理実/高山 智仁/田沢 烈
立川 和男/堂阪 俊子/富樫 尚代
豊田 尚生/中川 二郎/中里 州宏
永田 健一/中務 幸彦/奈切 敏郎
橋本 洋/畑井 紀代子/平賀 法子
福島 喜裕/本田 純一/松本 克巳
松本 伸二/三本 克郎/宮武 良平
三好 明子/森 茂/山下 進三
山科 淑子/渡辺 哲雄

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1 TEL.03-5378-6311

<https://japanphil.or.jp>

チケットお申し込み・お問い合わせ

[日本フィル・サービスセンター]

TEL.03-5378-5911 (平日10時~17時)

※状況によっては営業時間が変更になる場合がございます。
予めご了承ください。


eチケット♪

<https://eticket.japanphil.or.jp/>




 公式 X (旧Twitter)
@Japanphil



 公式
アカウント



 公式
インスタグラム



 公式
Facebook



メールマガジン
日本フィル NEWS はこちらから登録！



日本フィル公式YouTube  / @JapanphilMovie

「2分でわかる！
大人のためのオーケストラ入門Plus+」

毎月10日・20日に
お届け

